

<p>コトヲ話スベシ        (四) 琵琶法師、平家の曲ナドハ詳細ニ説明スベシ</p>	<p>二七、題目 祭禮に人を招く        三時間</p>	<p><b>要項</b>  <b>形式</b> (一) みのり、格別、御案内ノ讀解        (二) 招待文ノ模範ヲ示スニアリ  <b>實質</b> (一) 往書復書トモニ親戚朋友ノ間ニ於ケル禮儀交際ヲ知ラシムニアリ  <b>應用</b> 左ノ異同        (一) 賑しかるべしト賑しからん        (二) 下さるまじく様ト下さるまじき様  <b>書取</b>        (一) 天滿宮の祭禮は格別にぎはし</p>
<p>三三、題目 那須宗高ノ心中 一時間        (注)        一、讀本ノ卷四第五課勇將琵琶に泣くヲ参照シテ記述セシムベシ        二、文語體トス</p>	<p>一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ全面ニ下清書セシムベシ        二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ        鶴、燕</p>	

<p>二八、題目 害蟲 六時間  <b>要項</b>  <b>形式</b> (一) 一層、米粒、蛾、巢、焚火ノ讀解        (二) 農事的談話ヲ練習スルニアリ  <b>實質</b> (一) 害蟲ノ種類名稱        (二) 害蟲ノ發生繁殖        (三) 被害ノ模様        (四) 害蟲ノ驅除豫防        (五) 混蟲ト人生トノ關係ノ一班ヲ知ラシムルニアリ  <b>應用</b> 試問        (一) 蛾ト蝶トノ別</p>	<p>二六  <b>注意</b>        (一) 御厚意に従ひ參上いたすべく候        (二) 天滿宮ノ祭禮ノ二十五日ナル理由ヲ附説スベシ        (三) 村落祭禮ノ模様ヲ話シテ其ノ狀況一班ヲ知ラシムベシ</p>	<p>三四、題目 佛事に人を招く 一時間        (注)        一、親戚若クハ知人ヲ招クモノトス        二、口語體トス</p>	<p>二六、材料 二時間  <b>前回</b> 二下清書セシ分        (注)        一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ</p>
---	---	--	---

<p>要項</p> <p>二九、題目 保護鳥 五時間</p> <p>教具 害蟲ニオカサレシ稻ノ標本二三種 害蟲ノ標本</p> <p>注意 (一) 害蟲及ビ被害植物ハ實地採集セシムベシ (二) 曾テ本府ニテ害蟲驅除委員ヲ置カレシコトノアリシヲ附説スベシ (三) 我が國産上ニ於ケル稻ノ位置ヲ知ラシムベシ (四) 理科ト連絡アラシメンコトヲ要ス</p>	<p>二七</p>
<p>三五、題目 同返事 一時間</p> <p>(注) 一、往文ニ準ズベシ</p>	<p>二七</p>
<p>練習シ清書セシムベシ</p>	<p>二七、材料 二時間</p> <p>夫ハ外ヲ治メ妻ハ内ヲ整フ善行ヲ表彰シ功勞ヲ感謝ス</p> <p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習セシメ下清書セシムベシ 二、卷四第九課ト連絡スベシ 三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 整、表、感</p>

<p>形式 (一) 規則、捕フ、鶴、燕、雉、鳩、雜食 雛ノ讀解 (二) 説明的談話ヲ練習スルニアリ</p> <p>實質 (一) 保護鳥ノ種類名稱 (二) 保護鳥ノ保護セラルル理由 (三) 國法ニ遵ヒ公益ヲハカルコト</p> <p>應用書取 (一) 國ノ規則デ捕ヘルコトヲ禁ゼラレタ鳥類ヲ保護鳥トイフ (二) 雀ハイロイロト雜食スル鳥デアル (三) 鳥類ハ多ク春カラ秋ヘカケテ雛ヲ育テル</p> <p>教具 保護鳥類ノ標本</p> <p>注意 (一) 前課ト連絡シテ保護鳥ト害蟲トノ關係ヲ明カニ知ラシムベシ (二) 狩獵法及ビ狩獵法施行規則ヲ参照シテ國法ノ重ンズベキコトヲ知ラシムベシ (三) 外國ニ於ケル鳥獸保護ノ模様ヲ</p>	<p>二七</p>
<p>三六、題目 稻作蟲 二時間</p> <p>害ノ狀況</p> <p>(注) 一、附近ニ於ケル稻作蟲害ノ模様ヲ記述セシムルモノトス 二、讀本ノ卷四第七課害蟲ヲ参照セシムベシ 三、口語體トス</p>	<p>二七</p>
<p>二七、材料 二時間</p> <p>夫ハ外ヲ治メ妻ハ内ヲ整フ善行ヲ表彰シ功勞ヲ感謝ス</p> <p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習セシメ下清書セシムベシ 二、卷四第九課ト連絡スベシ 三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 整、表、感</p>	<p>二七</p>

附説シテ博愛心公德心ヲ養フベシ

三〇、題目 佐藤つる 四時間

要項

形式

(一) つぶさに、なめつくす、癒ゆ、耕す、微笑、孝悌ニ、雲の上、表彰ノ讀解

實質

- (一) つる女姉ヲ助ケラ母ニ事ヘシコト
- (二) 傳記文ノ模範ヲ示スニアリ
- (三) 母ノ病後ニ孝養セシコト
- (四) 母ノ看病ヲツトメシコト
- (五) 孝悌ノ道ヲ全フシテ表彰サレシコト
- (六) 孝悌ノ道ヲ教フルニアリ

應用書取

(一) 姉妹の介抱にて母の病やや癒じたり

二八

注意

- (一) 晝は田畑を耕し夜は絲を紡ぐ
- (二) 晝は田畑を耕し夜は絲を紡ぐ
- (三) 綠綬褒章を賜ひてその孝悌を表彰せらる
- (四) 修身的智識ヲ與フベシ
- (五) つる女ノ誠心ヨリ出デシ行ヒナルコトヲ知ラシムベシ
- (六) 常ニ親兄弟ニ事フル心得ヲ附説シオクベシ

三一、題目 賢母の教訓 六時間

要項

形式

(一) 卒ゐる、勅命、一族家人、あさましく、持佛堂、窺ふ、かたみ、故判官、芳し、奮ふ、教訓、鑑ノ讀解

實質

- (一) 正成公ノ戰死
- (二) 正行公自殺ヲハカル

三七、題目 害蟲驅除法を問はれし返事 二時間

(注) 一、讀本卷四第七課害蟲ノ二末節ヲ参照セシムベシ 二、文語體トス

二八、材料 前回ノ分 二時間

(注) 一、文字ノ位置ヲ前回ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

<p>二九</p> <p><b>教具</b> 管内地圖 短刀</p> <p><b>注意</b> (一) 歴史ト連絡アラシムベシ殊ニ管内ニ於ケル事蹟ナレバソノ跡ヲタツネテ印象ヲ深カラシムベシ</p> <p>(二) 太平記歴史讀本等ヲ参照シテ詳細ニ話シ楠木母子ニ厚キ同情ヲ表セシムベシ</p> <p>(三) 尊氏如キモノ殊ニ敵ニテアリナガラ正成ノ首ヲソノ家ニ送りタル</p>	<p>三八、題目 國ノオキテハ守ルベシ</p> <p>二時間</p>	<p>二九、材料</p> <p>二時間</p> <p>長短 廣狹 深淺 厚薄 多寡 輕重</p> <p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシム</p>
<p>應用</p> <p>(三) 正行公ノ母ノ教訓</p> <p>(四) 母子ノ忠義</p> <p>(五) 忠孝ノ道ヲ知ラシムルニアリ</p> <p>左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ</p> <p>(二) 正行ハ今ニモ自殺シヨウトシタ</p> <p>(一) ヨクソノ母ノヲシヘヲ守ツタ</p> <p>(三) 忠臣孝子ノ手本トイハルルヨリニナツタ</p> <p>書取</p> <p>(二) 勅命ヲ奉ジテ兵庫ニ赴ク</p> <p>(二) 走り寄りて短刀を奪ひ取れり</p>	<p>二、口語體トス</p>	<p>二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ</p> <p>狭、淺、重</p>

<p>三二、題目 櫻井の里 六時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) わたり、鎧の袖、のたまふ、見捨てる、死出の旅、惜む、五月雨ノ讀解</p> <p>(二) 悲哀的韻文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 楠木父子訣別ノ面影ヲ知ラシム</p> <p>(二) 忠君ノ志氣ヲ養フニアリ</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(一) 鎧の袖にうちすがる</p> <p>(二) わが子見捨てて死出の旅</p> <p>(三) 別れを惜む父と子と</p>	<p>二、口語體トス</p>	<p>二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ</p> <p>狭、淺、重</p>
--	----------------	---------------------------------------

教具 管内地圖 楠公父子訣別ノ圖  
注意 (一) 前課ト連絡シテ楠木氏一族ノ誠忠ヲ知ラシムベシ

- (二) 本課ハ全兒童ヲシテ各自朗誦セシムベシ
- (三) 櫻井ノ里ヲ實地ニフマシメバ最モ可ナリ
- (四) 本課ハ適宜ノ譜ニ配シテ唱歌セシムベシ

三三二、題目 風船 六時間

要項

形式

- (一) 裝置、網、籃、一緒、下界、壯快、蓋、傘ノ讀解
- (二) 口語ノ記事文ヲ示シ談話ヲ練習スルニアリ

實質

- (一) 風船ノ裝置
- (二) 風船ノ高キニノボル理由

三九、題目 人の父 二時間

の死をいたむ 一時間

(注)

- 一、ワガ學友モシクハ知人が父ヲ失ヒシヲ悔ムモノトス
- 二、父子ノ情ヲ述ベテ記述セシムベシ
- 三、話語體トス

四〇、題目 同返事 一時間

(注)

- 一、ワレノ感ジヲ述ベテ返書スルモノトス其ノ他往文ニ準ズベシ

三〇、材料 二時間

氣象臺測候所寒暖計晴雨計

(注)

- 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ全面ニ下清書セシムベシ

應用書取

- (一) ソノ裝置ハ手輕ナモノデアアル
- (二) 一二人ガ乗ラレルクラキノ籃デアアル
- (三) 風船ニ乗ッテルノハ壯快ダサウデアアル

試問

- (一) 風船ノ高クノボル理由
- (二) 高イ所ノ寒イノハ何故カ

教具

風船玉 風船模型

- (一) 理科ト連絡シテ話スベシ
- (二) 輕イ瓦斯ノコトハ實驗シテ示スベシ
- (三) 風船ノ功用ニツイテハ一二例ヲアゲテ話スベシ
- (四) 練習文ハ本文第二節ノ敷衍文ナルコトヲ示スベシ

四一、題目 正行公 二時間

(注)

- 一、讀本卷四第十課賢母の教訓ヲ参照セシムベシ
- 二、歴史ヲ於イテ授クコトヲ主トシテ記述セシムベシ

三一、材料 二時間

前回ニ下清書セシ分

(注)

- 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ

三四、題目 煙の目方 四時間

要項

形式 (一) 有無、御前、天秤、燃ゆ、舌をまかれたノ讀解

(二) 口語ノ記事文ヲ示シ談話ヲ練習スルニアリ

實質 (一) 萬物ミナ目方アルコト

(二) 烟ニ目方アル理由實驗

(三) 理科的思想ヲ養フニアリ

應用書取

(一) 誰も烟の目方の有無を疑ふ

(二) 天秤は物の輕重をはかるものである

(三) 煙草の燃わたあとに灰がある

教具 煙草 マッチ 天秤

注意

(一) 前課ト連絡シテ物ノ重量トイフコトヲ知ラシムベシ

(二) 理科ト連絡スベシ

(三) 本課ニテ君臣間ノ言葉遣ヒヲ知

三、文語體トス

練習シ清書セシムベシ

ラシムベシ (四) 物質不滅ノ理ヲ大要附説スベシ

三三、三五、題目 噴火山 四時間

要項

形式 (一) 浸む、噴火、燒石、略す、漏斗、徴候、突然、ほとばしる、潰すノ讀解

(二) 普通ノ記事文ヲ示スニアリ

(三) 噴火山ノ作用竝ニ理由

實質

(一) 噴火山ノ形状

(二) 火山ノ種別磐梯山爆裂ノ模様

(三) 地文學上ノ智識ヲ與フルニアリ

應用 左ノ文字ノ異同

(一) 盤ト磐

(二) 候ト侯

四二、題目 新年を 三三二、材料

賀す 一時間

(注)

一、古來有リフレタル形式

ニ拘泥セザルヨニスベシ

二、朋友間ノモノトス

三、口語體トス

頭顔 腕臂 胴腹 見送 待受

首肩 胸背 腰股 出迎

(注)

一、半紙ヲ横ニシテ

半面ニ練習セシム

ベシ

二、左ノ文字ノ書キ

方順序ヲ示スベシ

胸、迎

<p>三六、題目 類焼を見まふ 四時間</p>	<p>教具 噴火山ノ圖 燒石 注意 (一) 地理理科ト連絡アラジムベシ (二) 地熱ニツイテハ溫泉ノコトモ附説スベシ (三) 我が國ノ地震火山ノ多キコトモ附説スベシ (四) 噴火口ヨリ噴出スルモノハ火ニアラズシテ水蒸氣等ナルコトヲ教フシ</p>

<p>要項 形式 (一) ことの外、をりから、怪我、粗飯、遠慮、聞くや否や、男衆ノ讀解 實質 (一) 見舞文ノ模範ヲ示スニアリ (二) 人ニ同情ヲヨスルコト (三) 人ノ不幸ヲ慰問スルコト (四) 人ノ好意ヲ謝スルコト (五) 相互ノ交際法ヲ教フルニアリ 應用 左ノ文法上ノ異同 (一) 御立ちのきなされたるかト御立ちのきなされたるや (二) 御使ひ下さるべく候ト御使ひ下され候 (三) あづけるトあづかる 書取 (一) 別に怪我なし (二) 遠慮なく頂戴いたし候 (三) 御男衆などの御手傳ひにて出来申し候</p>	<p>四四、題目 富士山 二時間 (注) 一、讀本卷四第十四課噴火山ヲ参照シテ休火山トシテノ富士山ヲ記述セシムベシ 二、富士山ノ形狀土質等ヲ話サシムベシ 三、文語體トス</p>	<p>三三、材料 二時間 接待饗應給仕皇華士族平民爵位勳功官等 (注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ全面</p>
--	--	---

注意

- (一) 火災ハ勿論水災震災等非常ノ災害ヲ受ケシ者ニ向ツテハ同情ヲ起サシメザルベカラズ
- (二) 氣の毒早速粗飯とりあへずノ如キ手紙ニノミ用フル語ハソノ使用ニツイテ注意スベシ
- (三) 火災保險ノコトヲ附説スベシ

ニ下清書セシムベシ  
 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ  
 應、華、勤、官

三七、題目 善く働き善く遊ぶ

五時間

要項

形式

- (一) 誤らず、嬉戯、雑談、執着、沈黙、専心、食卓、刻苦、活潑、習慣、模範ノ讀解
- (二) 談話ヲ記述スル方法ヲ練習スルニアリ

實質

- (一) 英人ノ業ヲトル有様
- (二) 英人ノ遊ブ有様

應用書取

- (三) 善ク働キ善ク遊ブ習慣ヲ養フニアリ
- (二) 嬉戯雑談せずして専心業務を勵む
- (一) 働く時は沈黙せよ遊ぶ時は談笑せよ
- (三) 良き習慣を養ふべし  
填字法
- (二) 家に□りて家族と楽しく□にむかふ
- (一) 心身勇壯□にして常に餘力あり

教具 大鳥圭介氏ノ肖像

注意

- (一) 第一課ト連絡シテ英國ノ富強ナルコトヲ知ラシムベシ
- (二) 大鳥圭介氏ノ經歷大要ヲ附説スベシ
- (三) 修身ト連絡シテ時ヲ守ルノ必要ヲ知ラシメ所謂大阪時間ノ公德上

四五、題目 見本遞送を頼む

一時間

三四、材料

二時間

前回ニ下清書セシ分

(注) 一、新聞ノ廣告ニヨリテ商品ノ見本遞送ヲ頼ムモノ

(注)



- 許スベカラザルコトヲ話スベシ
- (四) 全文ヲ言語ニ譯シテ表出セシメ  
ンコトヲ要ス
- (五) 練習文ハ本文ヲ讀ミテ所感ヲ記  
セルモノナルコトヲ教フベシ

トス  
二、口語體トス

四六、題目 同返事

一時間

一、文字ノ位置ヲ下  
清書ト同ジクシテ  
練習シ清書セシム  
ベシ

(注)  
一、往文ニ準ズベシ

三八、題目 平田篤胤 四時間

要項

形式

(一) 心敏ク、才學、論講、應ズ、イヂ  
メル、携フ、口スギ、寸陰、篤學、  
潜ム、發揮、大人ノ讀解

(二) 傳記文ノ範ヲ示スニアリ

實質

(一) 篤胤ノ才學

(二) 篤胤ノ篤學

(三) 篤胤ノ國學上ノ功蹟

應用書取

(一) 篤胤ハ幼ヨリ心敏ク才學アリタ

- (一) 才學ト篤學
  - (二) 心服ト感服
  - (三) 應用ト質問
- 教具 春滿真淵 宣長篤胤ノ肖像 國學  
ノ學派系圖 本土地圖
- 注意 (一) 立志勤學ヲ勸ムルト共ニ嫉妬  
ノ惡徳タルコトヲ戒ムベシ  
(二) 歴史ト連絡シテ徳川時代ノ國學  
大要ヲ知ラシムベシ  
(三) 當時ノ一兩ハ今ノ幾圓ニ當ルカ  
ヲ説明スベシ  
(四) 篤胤ノ裸體ニテ川ヲ渡リシコト  
ニツイテハ深ク風紀上ノコトニ注  
意シテ授クベシ

三九、題目 愛國少年 六時間

要項

形式

(一) 興行、むごい、吊り床、にこにこ、はたごや、一たい、貧乏、悪口、鋭いノ讀解

三五

實質

- (一) 口語ノ記事文ヲ示シ話シ方ヲ練習スルニアリ
- (二) 少年郵船ニ乗ル
- (三) 乗客少年ヲメグム
- (四) 乗客ノ言葉
- (五) 少年ノ愛國心

應用

- 左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ
- (一) 親方のむごいのにこらへきれないので親元へかへった
- (二) 少年はひとりになにこ喜んで居た
- (三) 一たい清潔といふことを知らない

四七、題目 よく働

きよく遊べ

二時間

三五、材料

二時間

今年も最早切迫いたし御忙しき御事この鹽鱒歳暮のしるしとして進上仕り候以上

(注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシム

書取

- (一) 吊り床で寝て居た
- (二) 室内を清潔にせねばならぬ
- (三) 貧乏でも金持でも愛國心が必要である

教具 世界地圖

注意

- (一) 修身ト連絡シテ愛國心ヲ養フト共ニ誹謗ノ惡徳タルコトヲ知ラシムベシ
- (二) 少年ノ十一歳ナルコトヲ深ク兒童ノ腦裏ニ印象セシムベシ
- (三) 領事領事館ノコトヲ説明スルニ當ツテ公使公使館等ノコトヲ附説スベシ
- (四) 練習文ハ本文ノ約説文ナルコトヲ示スベシ

四〇、題目 裁判三題 七時間

ベシ

二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 鹽、歳暮、進上

<p>要項 形式</p> <p>(一) 裁判、判事、検事、辯護士、原告、被告、證據、判決、告發、法廷、拘引、無罪、訴ふ、盜む、悦ぶ、平伏ノ讀解</p> <p>(二) 昔語ヲ記述スル法ヲ示シ裁判用語ヲ知ラシムルニアリ</p> <p>實質</p> <p>(一) 木の證人、借リタルモノノハ返スベシ</p> <p>(二) 釜ぬす人、盜ミシモノハ必ズ露見ス</p> <p>(三) 瓦の無罪、冤罪ハ遂ニ免カル</p> <p>(四) 裁判ノ情況ヲ知ラシムルニアリ</p>	<p>四八、題目 イタリ</p> <p>一 國ノ一少年</p> <p>一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、讀本卷四第十八課愛國少年ノ練習文ヲ譯述セシムルモノトス</p>	<p>三六、材料</p> <p>二時間</p> <p>高等女學校一年級の教科書は何々なるか申し候へども御知らせ下されたく候</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ</p> <p>二、左ノ文字ノ書キ</p>
<p>要項</p> <p>應用試問</p> <p>(一) 判事ト檢事ト職務權限ノ差書取</p> <p>(二) 辯護士ハ如何ナル職カ</p> <p>(一) 論より證據</p> <p>(二) 原告被告は法廷に出た</p> <p>(三) 盜みしに相違なしと宣告せられ</p>	<p>四九、題目 奉公口を求む</p> <p>一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、商法見習ノ爲メ奉公口ヲ求ムルモノナレハ多少自己ノ目的ノアル所ヲ附記セシムベシ</p>	<p>二、口語體トス</p> <p>方順序ヲ示スベシ等、級</p>

<p>三七 四一、題目 内地雜居 五時間</p> <p>要項</p> <p>注意</p> <p>(一) 天王寺區裁判所、大阪地方裁判所及ビ大阪控訴院等ニヨリテ裁判所ハ何ヲ取扱フ役所ナルカヲ知ラシムベシ</p> <p>(二) 民事刑事ノ別豫審公判ノ別其ノ他裁判上ノコトヲ附說シ苟クモ國民タルモノハ裁判上ノ大要ヲ知ラザルベカラザルコトヲ知ラシムベシ</p> <p>(三) 裁判官ノ言語ノ嚴格ナルコトモ話スベシ</p>	<p>五〇、題目 裁判所</p> <p>二時間</p> <p>(注)</p>	<p>三七、材料</p> <p>二時間</p>
--	--	-------------------------

形式 (一) 居留地、區域、實地、軒、懸、詳かにす、感化ノ讀解

(二) 訓戒的ノ普通文ヲ示スニアリ

實質

(一) 外人來往ノ沿革

(二) 内地雜居後ノ情況

(三) 外人ニ對スル態度

(四) 外人トノ交際心得

應用書取

(一) 今より□年前に改正條約實施せられたり

(二) 互に軒を並べて商業を營む

(三) 運動場の區域定まれり

(四) 外國の事情を詳かにすべし

教具

諸盟國國旗掛圖 世界全圖 内地雜居ニ關スル詔勅及ビ文部大臣訓令ノ寫シ

注意

(一) 修身ト連絡シテ外人ニ對スル心得ヲ訓フベシ

(二) 内地雜居ト商工業トノ關係ヲ示スベシ

前回ニ下清書セシモノ

(注)

一、文字ノ位置ヲ下

清書ト同ジクシテ

練習シ清書セシム

ベシ

一、裁判所ニ判事檢事等ノアルコト並ニ裁判官ノ職務等ヲ記述セシムルモノトス  
二、辯護士ノコトモ附記セシムベシ  
三、讀本ノ卷四第十九課ヲ參照スベシ  
四、口語體トス

三八

四二、題目 三十五勇士 五時間

要項

形式

(一) 土匪征伐、曹長、衆寡、軍曹、激シ、遁レ出ヅ、懸カル、窺フ、跳ル

讀解

(二) 兵事的記事文ヲ示スニアリ

實質

(一) 三十五勇士ノ任務

(二) 三十五勇士ノ激戰

(三) 田中一等卒ノ功勳

(四) 軍人ノ覺悟及ビ任務ヲ知ラシム

應用 左ノ文字ト同訓ノ文字ヲ書取ラシム

五一、題目 丁稚の 三八、材料

周旋をたのむ

一時間

(注) 一、ワガ家ニ何故ニ丁稚ヲ

讀本第二十課ノ中 内地雜居

<p>四三、題目 喇叭卒 三時間</p>	<p>ベシ</p> <p>(一) 激シ、遁ル、懸ク</p> <p>(二) 跳ル、窺フ、從フ 書取</p> <p>(一) 土匪ヲ征伐セントテ大姑陷川ヲ サカノボル</p> <p>(二) 櫻井特務曹長ハ三角湧ニテ討死 セリ</p> <p>(三) 堤ニ上リテ様子ヲ窺フ</p> <p>教具 臺灣地圖</p> <p>注意 (一) 軍人相當官ノ階級ヲ説明スベシ</p> <p>(二) 田中一等卒ハ本府北河内郡ノ人 ニシテ金鷄勳章ヲ賜ハリシコトヲ 話スベシ</p> <p>(三) 唱歌ト連絡シテ三角湧ノ曲ヲ唱 ハシムベシ</p>
	<p>要スルカヲ述ベテ其周旋 ヲ頼ムモノトス</p> <p>二、其ノ年齢教育性質等ヲ 記述セシムルモノトス</p> <p>三、ハ文體トス</p> <p>五二、題目 同返事 一時間</p> <p>(注) 一、往文ニ準ズベシ</p>
	<p>數年前まで は……互に 往來するも のものあるべ し</p> <p>(注) 一、半紙ヲ横ニシテ 半面ニ練習シ清書 セシムベシ</p> <p>二、細字ノ練習ヲ目 的トス</p>

<p>三九</p> <p>教具 朝鮮ノ圖</p> <p>注意 (一) 喇叭手ハ白神源次郎ナルコトヲ</p>	<p>要項 形式 (一) 唳々、進軍譜、いよよ、忠義の 息、る、喉、血しほ、蟲の息、やた けにはやる、急所のいたで、一瞬 時ノ讀解</p> <p>(二) 韻文ノ特長ヲサトラシムルニ アリ</p> <p>實質 (一) 喇叭手ノ任務</p> <p>(二) 喇叭手ノ忠義覺悟</p> <p>(三) 喇叭手ノ功蹟名譽</p> <p>(四) 忠勇心ヲ鼓舞スルニアリ</p> <p>應用 左ノ韻文ヲ口語ニ改メシムベシ</p> <p>(一) 唳々吹き出す進軍譜</p> <p>(二) 喇叭の聲とつく息と たはしはおなじ一瞬時 書取</p> <p>(一) 血しほは喉より迸る</p> <p>(二) 忠勇無比の喇叭卒</p>
<p>五三、題目 清國</p>	
<p>三九、材料</p>	

<p>話スベシ</p> <p>(二) 二十七八年戦役ノ大要ヲ説明スベシ</p> <p>(三) 軍隊ニ於ケル喇叭卒ノ必要ナルコトヲ附説スベシ</p> <p>(四) 唱歌ニテ喇叭の響ヲ課スベシ</p>	<p>二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、清國ノ位置面積人口等ヲ記述セシメ我が國トノ關係ニ及ブモノトス</p> <p>二、二十七八年戦役ノコトモ附記セシムベシ</p> <p>三、口語體トス</p>	<p>二時間</p> <p>雪の日やあれも人の子樽ひろひ風雪を経ざれば春に逢はず</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シテ下清書セシムベシ</p>
<p>四〇練習</p>	<p>五四、題目 白神源次郎 二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、讀本ノ卷四第二十二課喇叭卒ヲ誦シテ感ジタルコトヲ記述セシムルモノトス</p> <p>二、文語體トス</p>	<p>四〇、材料 前回ノ分 二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、文字ノ位置ヲ前回ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ</p>

一三四

<p>高等小學校第二學年國語科教授細目</p> <p>教科書 新國語讀本<small>高第小學校兒童用</small> 卷五、六 新國語習字帖 卷五、六</p>		
<p>種目</p> <p>讀ミ方 話シ方</p>	<p>綴リ方</p>	<p>書キ方</p>
<p>一一、題目 皇后陛下の御盛徳 五時間</p> <p>要項</p> <p>形式 (一) 華族、行啓、地震慘狀ノ讀解 (二) 最敬語ヲ用ヒタル記事文ヲ示スニアリ</p> <p>實質 (一) 皇后陛下ノ教育及ビ實業ヲ重ンゼラルルコト (二) 皇后陛下ノ仁慈ニワタラセラレルコト (三) 忠君愛國ノ念ヲ養フ</p> <p>應用 左ノ最敬語ヲ普通語ニ改メシムベシ</p>	<p>一、題目 中學校に入學せし友におくる 一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、同學級ニアリシ友人ノ市内中學校ニ入學セシニオクルモノトス</p> <p>二、以文體ナルベシ</p>	<p>一、材料 二時間 琢かざれば玉も鏡も何かせん</p> <p>(注)</p> <p>一、第一課皇后陛下の御盛徳ト連絡スベシ</p> <p>二、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ</p> <p>三、左ノ文字ノ書キ</p>
<p>二二、題目 皇后陛下の御盛徳 五時間</p>		
<p>應用 左ノ最敬語ヲ普通語ニ改メシムベシ</p>		

高等國語科教授細目

一三五

ノ説明

一時間

方順序ヲ示スベシ  
琢、玉、

(注)

一、左ノ文章ノ空所ニ填字  
セシムベシ

この畫は 皇后陛下△廣  
島豫備病院△行啓まし  
して傷病者を慰めいたは  
らせ給へる所なり寢臺の  
□△に寝て居るものは□  
□□□□の傷病者に  
して遠く□地に入り國の  
ために□△盡△△軍人な  
り□□□□を迎へ奉れる  
は□□△△△△帽をかぶり  
て遠くに立ちならべるは  
□□□□なり

- (一) その慘狀をきこしめさる
- (二) 常のめしあがりものさへよくも  
すすませられざりきとぞ
- (三) 御みづから先立たせらる

試問

- (一) 行啓ト行幸トノ別
- (二) 陛下ト殿下トノ別

教具

あやにしき……及ビ金剛石ノ御詠  
ナドヲシルシ奉レル額面

注意

- (一) 最敬語ヲ用フル話シ方ヲ練習ス  
ベシ
- (二) 授業ノ終始其ノ姿勢言語等ニ注  
意スベシ
- (三) 修身ト連絡スルヲ要ス

二、題目 日本赤十字社 六時間

要項

形式(一) 患者、締結、謀る、恤兵、監督、

團匪ノ讀解

實質

- (一) 敘事文ノ組立法ヲ示スニアリ
- (二) 赤十字社ノ由來
- (三) 日本赤十字社ノ由來
- (四) 日本赤十字社ノ組織及ビ奏功
- (四) 博愛心ヲ養フニアリ

應用試問

- (一) 土匪ト團匪トノ別
- (二) 傷病者ト患者トノ別
- (三) 保護ト監督トノ別
- 書取
- (一) 同志相謀りて患者を救護す
- (二) 條約を締結して報國恤兵の事に  
従ふ

教具

赤十字社規則 社章 社員章 世界  
地圖

注意

- (一) 前課ト連絡スベシ
- (二) 社章ノ由來ヲ簡單ニ話スベシ
- (三) 赤十字社ニ加盟シタル歐洲十一  
國ノ名稱ハ取リシラベオクベシ

三、題目 皇后陛下  
の御文徳 二時間

(注)

- 一、讀本卷五第一課皇后陛  
下の御盛徳ノ第二節ヲ敷  
衍セシムルモノトス
- 二、敬語敬稱ノ用法ヲ誤ラ  
ザルヨ一注意スベシ
- 三、文語體トス

二、材料 二時間

學びの道も  
かくこそあ  
りけれ

(注)

- 一、前回ト連續シテ  
一首ノ和歌ナルコ  
トヲ知ラシムベシ
- 二、半紙ヲ縦ニシテ  
半面ニ練習シ前回  
ノ分ト共ニ全面ニ  
下清書セシムベシ

<p>(四) 支那人ニシテワガ日本赤十字社ニ加入スルモノ續々アルコトヲ附説スベシ</p>	<p>三、題目 赤十字社に入るを勸む 四時間</p>	<p>要項 形式 (一) 勸誘、基づくノ讀解 (二) 勸誘文ノ範ヲ示スニアリ 實質 (一) 支部長ノ依頼ニヨリテ入社ヲ勸ム (二) 赤十字社ノ主意ヲ贊シ入社ノヨシヲ申シソヘテ返書スルコト (三) 入社ノ手續キヲ知ラシムルニアリ 應用書取 (一) 入社勸誘方を依頼せらる (二) 博愛仁慈の道に基づく</p>
<p>四、題目 體育會に入るを勸む 一時間</p>	<p>三、材料 二時間 前回ニ下清書セシム</p>	<p>(注) 一、讀本卷五第三課赤十字社に入るを勸むノ形式ニ從ハシムベシ 二、體育會ノ組織目的等ニ</p>
<p>(注) 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同様ニシテ練習シ清書セシムベシ</p>		

<p>教具 赤十字社規則書 申込書雛形 注意 (一) 前課ト連絡シ大阪支部ノコトヲ話スベシ (二) 練習文ハ本文ノ約説文ナルコトヲ知ラシムベシ</p>	<p>四、題目 露の履歴ばなし 十二時間</p>	<p>要項 形式 (一) 聽く、踏む、蹴る、水晶、鱒、溜池、叫ぶ、液體、窒息、硝子ノ讀解 (二) 擬人的談話文ノ模範ヲ示スニアリ 實質 (一) 水ノ谿間ニアル有様 (二) 水ノ川トナリテ流ル、有様 (三) 水蒸氣ノ效用 (四) 水蒸氣ノ露トナル有様 (五) 水ノ循環極リナキヲ知ラシム</p>
<p>ツイテ簡單ニ話スベシ 三、口語體トス 五、題目 同返事 一時間 (注) 一、往文ニ準ズルモノトス</p>		
<p>ツイテ簡單ニ話スベシ 三、口語體トス 五、題目 同返事 一時間 (注) 一、往文ニ準ズルモノトス</p>		
<p>ツイテ簡單ニ話スベシ 三、口語體トス 五、題目 同返事 一時間 (注) 一、往文ニ準ズルモノトス</p>		



四

應用試問

ルニアリ

- (一) 雪下霜トノ別
  - (二) 雨ト露トノ別
  - (三) 空氣ト水蒸氣トノ別
- 左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ
- (一) 目のわるい者には見ぬないほど小さい
  - (二) 生れるからすぐに歩きはじめました
  - (三) まるで牢屋につながれたよーでありました
- 書取
- (一) 私が唱歌をうたふからお聴き下さい
  - (二) 踏んだり蹴つたりされたから痛い痛いとい叫んだ
  - (三) 空氣がなかつたので窒息した

六、題目 野山ノ景色

二時間

- (注)
- 一、讀本卷一第一課ヲ回想セシメンコトヲ要ス
  - 二、學校附近ヨリノ眺望ノ實景ヲ記サシムベシ
  - 三、文語體トス

四、材料 博愛慈善報 國恤兵療養 救護

二時間

- (注)
- 一、第二課日本赤十字社ト連絡スベシ
  - 二、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ
  - 三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ
- 博、報、恤、護、

五

教具 汽車ノ雛形

注意 (一) 前卷ノ日本刀歌ト連絡シテ擬人

- 法ノ妙味ヲ知ラシムベシ
- (一) 水ノ三體變化ノ大要ヲ説クベシ
  - (二) ナルベク多クノ兒童ニ話サシメテ話シ方ノ練習ヲナスベシ

七、題目 水ノ變化

五、材料

二時間

性質溫順品行方正學業優等

- (注)
- 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ全面ニ下清書セシムベシ
  - 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ
- 性、方、正、

五、題目 硫水工事

四時間

要項

形式

- (一) 硫水、掘る、多額、運轉、豫想ノ讀解
- (二) 敘事文ノ範ヲ示スニアリ

實質

- (一) 硫水ノ通路
- (二) 硫水工事ノ困難竝ニ費用
- (三) 工事落成
- (四) 硫水ノ效用
- (五) 工業思想ヲ養フニアリ

應用試問

- (一) 掘ト掘トノ別
- (二) ほとんどトまるでトノ別

<p>書取 (一)これを掘らんには多額の費用を要す (二)その利益は豫想よりも大なり</p> <p><b>教具</b> いんぐらいいんノ圖 電氣車 電氣燈ノ模型 京都及び大津附近地圖</p> <p><b>注意</b> (一)疏水工事ハ北垣國道ノ企テシモノナルコトヲ教フベシ (二)イカニ交通ヲ助クルカラ詳説スベシ (三)安治川開通淀川改修大阪灣築港ナド交通ニ關スル工事ニ三ト比較セシム</p>	<p><b>六</b></p> <p>六、題目 朝風の歌 四時間</p> <p><b>要項</b> <b>形式</b> (一)麓、ねぐら、裾野、鐘樓、いざいざ、叩く、わだの原ノ讀解</p>	<p>八、題目 淀川改修工事の模様を知らす 二時間</p> <p>(注) 一、形式ヲ讀本ノ卷五第六課疏水工事ニトリテ淀川改修工事ノ設計區域目下工事進行ノ模様將來ノ目的利益等ヲ詳細ニ記述セシメンコトヲ要ス 二、文語體トス</p>
<p>六、題目 庭先の小世界 五時間</p> <p><b>要項</b> <b>形式</b> (一)裏、油断、さすつてやる、尖る、</p>	<p>六、材料 二時間</p> <p>(注) 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ</p>	<p>前回ニ下清書セシモノ</p>

<p>(一)七五調ノ韻文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一)早朝ノ美景 (二)早起ノ必要</p> <p><b>應用書取</b> (一)山の麓に霞がかかる (二)僧は鐘樓の鐘をつく (三)戸を叩いて起こす</p> <p><b>注意</b> (一)本課ヨリ朗誦セシムベシ (二)早起ハ衛生上ヨリイフモ道德上ヨリイフモ必要ナルコトヲ話スベシ (三)風ヲ人ニ擬シテ無情ノモノヲ有情タラシメシ文ノ妙味ニ感ゼシメンコトヲ要ス</p>	<p>七、題目 庭先の小世界 五時間</p> <p><b>要項</b> <b>形式</b> (一)裏、油断、さすつてやる、尖る、</p>	
---	--	--

<p>七</p> <p>るじき、さいご、直径、蟻地獄、禍ノ讀解</p> <p>(二) 動物語ヲ用ヒタル談話文ヲ教フルニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) あぶらむしノ繁殖 (二) あぶらむしト蟻及ビてんとイハルノ幼蟲トノ關係 (三) 蟻トウすばかげろノ幼蟲及ビ鶏トノ關係 (四) 昆蟲ノ生存競争ヲ話シ人事界ノコトニ及ボス</p> <p><b>應用</b> 左ノ文ノ主客ヲ轉換セシムベシ (一) 蟻はよくあぶらむしを保護して居る (二) あぶらむしは梅の木をからしてしまふ</p> <p><b>書取</b> (一) 油断をすれば禍きたる (二) 蟻地獄は其直径一二寸である</p> <p><b>教具</b> あぶらむし、てんとーむしノ幼蟲</p>	<p>九、題目 汽車ニツキテノ感じヲシルス 二時間</p> <p>(注) 一、汽車ハ何故カク速ニ走ルカ汽車ナキ時代ノ人ハイカニ不自由ナリシカ等ノアラユル感じヲ記述セシムルモノトス 二、強イテ汽罐ノ構造等ノ説明ニワタラザルヨ一注意スベシ 三、口語體トス</p>	<p>七、材料 二時間 掃立簇製絲 絲繰紡績機業</p> <p>(注) 一、第九課養蠶ト製絲ノ章ト連絡スベシ 二、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ 三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 簇、績、機、</p>
--	---	---

<p><b>注意</b> (一) あぶらむしニ食ハレタル梅ノ木 うすばかげろノ幼蟲ノ實物標本 あぶらむしニ食ハレタル梅ノ木 (二) あぶらむしノ繁殖法ニ付テハ町亭ニシテ理解セシメンコトヲ要ス (三) 尋常科ノ鳥獸及ビ爬蟲類ノ生存競争ノ課ト連絡セシムベシ</p>		
<p>八、題目 養蠶と生絲 七時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 述べ、棚、こじり、半透明、まぶし、検査、捲くノ讀解 (二) 實業的記事文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 養蠶ノ歴史 (二) 養蠶ノ方法及ビ注意 (三) 製絲ノ方法及ビ注意 (四) 實業心ヲ養フニアリ</p> <p><b>應用書取</b> (一) 養蠶製絲の方法を述べん</p>		

八

教具

- (一) 體色變じて半透明となる
- (二) 生絲に製したる後検査す
- (三) 蠶成長ノ順序ヲ示ス標本 座繰機械
- (四) 養蠶ノ歴史ニツキテハ日本歴史ト連絡アラシムベシ

- (一) 理科ト連絡スベシ
- (二) ねむりニ付テハ充分兒童が理解するよゝに教授すべし
- (三) 温度ハ華氏ノ幾度グラキナルカヲ附説スベシ
- (四) 蠶絲ハ國産中第一等ニ位セルコトヲ附説スベシ
- (五) 練習文ニヨリテ蠶ノ性質ヲ説明スベシ

一〇、題目 蚜蟲ノ害

一時間

(注)

- 一、讀本ノ卷五第八課庭先の小学生ノ第二節ヲ参照シテ綴ラシムベシ
- 二、口語體トス

一一、題目 蚜蟲の驅除法を問ふ

一時間

(注)

- 一、「あぶらむし」一斗壹錢五厘」ナドノまじない的張紙ノ俗説ヲ附説セシムベシ
- 二、以文體トスベシ

八、材料 二時間

辛苦研究勉勵經驗老練熟達

(注)

- 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ全面ニ下清書セシムベシ
- 二、左ノ文字ノ書き方順序ヲ示スベシ 勵、驗、熟、

九、題目 太古の樹木 三時間

要項

形式(一)鬱茂、洪水、礦物、化す、化身、

採掘ノ讀解

- (一) 推測的記事文ヲ示スニアリ
- (二) 太古ノ樹木茂生ノ有様
- (三) 樹木ガ礦物性ノモノトナリシコト
- (四) ソノ礦物性ノモノハ燃料トナリシコト
- (五) 石炭生成ノ由來ヲ知ラシメ地質學上ノ智識ヲ與フルニアリ

實質

應用 試問

- (一) 礦ト鑛トノ別書取

- (一) 樹木は一面に鬱茂せり
- (二) 石炭ハ樹木ノ礦物ニ化シタルモノナリ
- (三) 人々競ひて採掘す

教具

石炭 埋木其ノ他樹木ノ化石シタルモノ

注意

- (一) 理科ト連絡セシムベシ
- (二) 天變地異ノ解釋ニ付テハ枝葉ニ

一二、題目 製絲工

女募集廣告

一時間

(注)

- 一、新聞紙ニ掲載スベキ廣告文ヲ普通文體ニ綴ラシムベシ
- 二、簡單ニシテ其ノ意ヲ明カナラシムルヨリ記述セシメザルベカラズ

九、材料 二時間

前回ニ下清書セシ分

(注)

- 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

<p>ワタラザルヨニスベシ        (三) 石炭ノ用途ニツキテ一二説明スベシ</p>	<p>一〇、題目 鐵の功用 五時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b>(一) 鐵器時代、鑄鐵、鍛鐵、鋼鐵、もろい、鋤、鍬、及物、彈力、肝心ノ讀解        (二) 工業語ヲ用ヒタル說話ヲ練習スルニアリ</p> <p><b>實質</b>(一) 鐵ノ效用一斑        (二) 鐵ノ製法ニヨリテ種類アルコト        (三) 鐵ノ製法ニヨリテ價ノ生ズルコト        (四) 鐵ニ關スル智識ヲ與ヘテ工業ノ必要ヲ知ラシム</p>
<p>一三、題目 蠶卵紙        を注文す 一時間</p> <p>(注)        一、先ヅ蠶卵紙撰擇ノ必要ナルコトヲ知ラシムベシ        二、注文先キハ信用深キ養蠶家ニシテ年來ノ取引先キナルベシ        三、ハ文體トス</p>	

<p><b>應用</b> 左ノ語ノ誤リヲ正サシムベシ        (一) 鐵を金銀のよーに貴げれない        (二) 鐵器時代とも云ふておる書取</p> <p>(一) 及物は鋼鐵でこしらへる        (二) 鋤鍬などは鍛鐵を打つて造る</p> <p><b>教具</b> 鐵の地金 せんまい 刀劍 鑄鐵 鍛鐵 鋼鐵</p> <p><b>注意</b> (一) 前課ト連絡シテ鐵石炭ノ文明ニ及ボセシ影響ヲ知ラシムベシ        (二) 理科ト連絡スベシ        (三) 人工ニヨリテ其ノ價ノ生ズルコトヲヨク説明シテ工業ノ必要ヲ感ゼシムベシ        (四) 我國ノ鐵ノ需用供給ヲ附説スベシ</p>	<p>一四、題目 石炭の由來を問はれしに答ふ 二時間</p> <p>一、讀本ノ卷五第十課太古の樹木ノ全文ヲ約説セシムルモノトス        二、ハ文體ナルベシ</p>	<p>一一、題目 豊太閤 五時間</p>
<p>一〇、材料 二時間</p> <p>居ハ氣ヲ移シ養ハ體ヲ移ス廢物ヲ利用シ入費ヲ節約ス</p> <p>(注)        一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ</p>		

	<p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b>(一) 古りたる、賤が伏屋、關白、つはもの、虎豹、鬼神、八とせ、波濤輝く、くまなく、仇、封冊ノ讀解</p> <p>(二) 七七調ノ韻文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b>(一) 豊公ノ出身</p> <p>(二) 豊公武勇天下ヲ定ム</p> <p>(三) 豊公威ヲ海外ニ輝カス</p> <p>(四) 豊公ノ英雄タル所以ヲ感ゼシムルニアリ</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(一) 鬼神に劣らぬはかりごと</p> <p>(二) 虎豹をしのぐ勇ましさ</p> <p>(三) 萬里の波濤もなんなその</p> <p><b>教具</b> 豊公ノ肖像 大阪舊城ノ圖 五三ノ桐ノ紋 日清韓ノ地圖</p> <p><b>注意</b>(一) 歴史ト連絡シテ其生所等ヨリ出身ノ大要ヲ話スベシ</p> <p>(二) 五七ノ桐ハ皇室ノ御紋ナルコトヲ知ラシムベシ</p>		<p>二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ</p> <p>體、費、</p>
--	---	--	--------------------------------------

一一二二 題目 平壤の戦 六時間

	<p>(三) 大阪城ヲ縦覽セシメテ其壯大ヲ觀察セシメ豊公ノ英雄タル所以ヲ想起セシムベシ</p> <p>(四) ヨクノ朗誦セシメテ七五調トノ區分ヲ知ラシムベシ</p> <p>(五) 練習文ニヨリテ韻文ヲ普通文ニ約説スル法ヲ授クベシ</p>	<p><b>一五、題目 鐵ノ功 一時間</b></p> <p>(注) 一、讀本ノ卷五第十一課鐵の功用中ノ鐵は製法によつてヨリ軍艦などを造るにヨリマデヲ文語體ニ譯セシムベシ</p> <p>二、原文ノ意味ヲ失ハザルヨリ注意スベシ</p>	<p><b>一一、材料 二時間</b></p> <p><b>前回ノ分</b></p> <p>(注) 一、文字ノ位置ヲ前回ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ</p>
	<p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b>(一) 壘、阻む、齊し、未明、さやけき 月光、吶喊、迫る、掲ぐ、扼す、虜ノ讀解</p> <p>(二) 戦記文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b>(一) 平壤ノ位置敵ノ警戒</p> <p>(二) 我軍ノ兵略</p> <p>(三) 戦況及ビ結果</p> <p>(四) 軍事思想ヲ養フニアリ</p>		

應用試問

- (一) 彼我ノ地理上ノ利害
- (二) 彼我ノ軍略ノ巧拙
- (三) 彼我軍人ノ勇氣

書取

- (一) 吶喊して敵の諸壘を抜く
- (二) 齊しく進みて本城に迫る
- (三) 白旗を掲げ降服して虜となる

教具

平壤及ビ附近地圖 野津立見大島佐藤諸將校ノ寫眞 原田重吉玄武門ヲヤブル圖

注意

- (一) 本課ヲ讀マシメ話サシムルニハ或ハ英壯ニ或ハ勇壯ニ十分活氣アラシムベシ
- (二) 第四卷第二十二課ト連絡スベシ
- (三) 平壤包圍攻撃ヲ参照シテ其ノ實況ヲ知ラシメザルベカラズ
- (四) 野津立見大島佐藤ノ諸將校現今ノ位置ヲ話スベシ

一六、題目 鐵ト石炭 一時間

- (注) 一、讀本卷五第十一課鐵の功用ノ練習文ヲ口語體ニ譯セシムベシ
- 二、句々原文ノ意味ヲ失ハザルヨリ注意スベシ

一一三、題目 すちーぶんそん 五時間

要項

形式

(一) 西曆、炭坑、採掘、構造、模型、忍耐、偉功ヲ奏スノ讀解

實質

- (一) 傳記文ノ範ヲ示スニアリ
- (二) すちーぶんそんノ幼時
- (三) 性質及ビ職業
- (四) 勉學及ビ發明
- (五) 忍耐ハ成功ノ基タルコトヲ知ラシムルニアリ

應用試問

- (一) 貧シカリシカハト貧シケレハトノ別
- (二) 圖書ヲ讀ムト圖書ヲモ讀ムトノ別
- 書取
- (一) 機械ノ構造ヲ研究シテ、ソノ模型ヲ造ル

一七、題目 平壤包圍攻撃(書名)を借り 一時間

- (注) 一、讀本ノ卷五第十三課平壤の戰を讀みて後コノ書ヲ借りニツカハスモノトスベシ
- 二、文語體トス

一八、題目 同返事 一時間

- (注) 一、返書者モ同一ノ境遇ニアルモノユエ目下使用中ナルコトヲ述ベテ二三日ノ猶豫ヲ乞フ旨ヲ記サシムルモノトス
- 二、文語體トス

一一二、材料 二時間

通商貿易交  
往來輸出入  
豫算收  
入出納

- (注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ
- 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示ス
- 往、來、出、

<p>(二) 炭坑ノ機關手ニ振擢セラレ (三) 本年ハ西曆千九百二年ナリ (四) 忍耐ハヨク偉功ヲ奏ス</p> <p><b>教具</b> 蒸汽機關ノ模型</p> <p><b>注意</b> (一) 理科ト連絡シテ發明ノ公益ヲナスコトヲ知ラシムベシ (二) 事ハタゞ忍耐ニアリノ言ハ常ニ肝銘セシムベシ (三) すちーぶんそんノ幼時ト兒童ノ現時ト比較シテ話スベシ</p>	<p><b>一四、題目 畫家の丹誠三題</b> 五時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 經文、柱、熟視、寫す、襖ノ讀解 (二) 逸話的短文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 雪舟のなみだ鼠 (二) 狙仙猿を畫くに苦心す</p>
	<p><b>一九、題目 南海鐵道</b> 二時間</p> <p>(注) 一、南海線ニヨリテ沿道ノ名所古蹟ヲ遊覽セシ記事ヲ綴ラシムルモノトス 二、遊覽セシ土地ヲ左ノ通り定ムベシ 阿部野 住吉 堺 濱寺 和歌山 三、口語體トス</p>
	<p><b>一三、材料</b> 二時間</p> <p>保險合資株式旅行支度出發無事到着逗留</p> <p>一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシメ前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 無、留、</p>

<p>(三) 元信畫ヲカクニ苟モセズ (四) 熟達ハ熱心ニアルコトヲ知ラシム</p> <p><b>應用書取</b> (一) 技術の熟達は主として熱心にあ り (二) 狙仙は襖に猿を寫せり <b>教具</b> 雪舟ノ山水 狙仙ノ猿 元信ノ馬等ノ畫幅モシクハ石版ズリ</p> <p><b>注意</b> (一) 前課ト連絡シテ事ハ丹誠ニアルコトヲ知ラシムベシ (二) 三題相比較シテ文章構成ノ異同ヲ説明スベシ (三) 元信(古法眼)ニ付テハ堺ト箱根トノ距離及ビ往古旅行ノ困難ヲ述ベテ其ノ感ヲ深カラシムベシ (四) 練習文ハ本課三題ヲ讀ミシ感ジヲシルセシモノナルコトヲ知ラシムベシ</p>	<p><b>一九、題目 南海鐵道</b> 二時間</p> <p>(注) 一、南海線ニヨリテ沿道ノ名所古蹟ヲ遊覽セシ記事ヲ綴ラシムルモノトス 二、遊覽セシ土地ヲ左ノ通り定ムベシ 阿部野 住吉 堺 濱寺 和歌山 三、口語體トス</p>	<p><b>一三、材料</b> 二時間</p> <p>保險合資株式旅行支度出發無事到着逗留</p> <p>一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシメ前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 無、留、</p>
--	---	--



一五、題目 春日の局 四時間

要項

形式 (一) 世子、取り締る、大奥、たしなみ、化粧、衣裳、かひがひしい、些細ノ讀解

(二) 高雅ナル口語ヲ練習セシムルニアリ

實質

- (一) 局ノ出身
- (二) 局ノ女中ニ勤勉ヲ教ヘシコト
- (三) 局ノ女中ニ儉約ヲス、メシコト
- (四) 局ノ女中ニ敬ハレシコト
- (五) 勤儉ノ徳ヲ養フニアリ

應用書取

- (一) 家事萬端を取り締る
- (二) 朝早く起きて化粧もしたり髪も結ふたり
- (三) 衣裳の裾などを汚すな
- (四) かひがへしうして些細なことに

一四

一六、題目 一家の經濟 四時間

要項

形式 (一) 經濟、豫算、帳簿、出納、保險ノ讀解

(二) 家政語ヲ用ヒタル論說文ヲ示スニアリ

實質

- (一) 家事經濟ノ必要
- (二) 家事經濟ノ方法注意

二〇、題目 書畫展

覽會縱覽にさそ 一時間

ふ

(注)

- 一、當市博物場内美術館ニ書畫ノ展覽會アルモノト假定スベシ
- 二、口語體トス

二一、題目 同返事

一時間

(注)

- 一、往文ニ準ズベシ

一四、材料

二時間

前回ニ下清書セシ分

(注)

- 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

<p><b>應用</b> 左ノ文ノ誤リヲ正サシムベシ</p> <p>(一) 金錢の出高と入高を記入しおくべし</p> <p>(二) よくその當を得ると得ざるあり書取</p> <p>(一) 經濟の法を立てんにはまづ豫算を立つべし</p> <p>(二) 金錢の出納を帳簿に記入す</p> <p><b>注意</b> (一) 前課ト連絡シテ勤儉ノ徳ヲ養フベシ</p> <p>(二) 兒童學用品ノ買入等ハ必ズ帳簿ニ記入セシメ置クベシ</p> <p>(三) 家計簿記ノ一例ヲ示スベシ</p> <p>(四) 保險貯金ニツキテハ例ヲ擧ゲテ其ノ一斑ヲ知ラシムベシ</p> <p>(五) 練習文本文ハ第三節ヲ敷衍セシモノナルコトヲ教フベシ</p>	<p><b>二二二、題目 儉約</b> 二時間</p> <p>(注) 一、讀本ノ卷五第十七課一家の經濟ノ意義ヲ取りテ儉約ノ必要ヲ修述セシムベシ</p> <p>二、儉約ヲ以テ家ヲ起シ身ヲ立テシ人ヲ擧ゲテ語ラシムベシ</p> <p>三、文語體トス</p>	<p><b>一五、材料</b> 二時間</p> <p>昨日の選手 競走には見 事なる御勝 利にて賞品 を得られ誠 にめでたく 存じ候</p> <p>(注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ</p> <p>二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 選、誠、</p>
---	---	---

<p><b>一五 一七、題目 物ノ價</b> 六時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 原因、生産、例、需用、供給、市場ノ讀解</p> <p>(二) 經濟學ノ術語ヲ用ヒタル口語文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 物價ノ由來</p> <p>(二) 物價ノ變動及ビ原因</p> <p>(三) 需用ト供給トノ關係</p> <p>(四) 經濟思想ヲ養フニアリ</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(一) ヨイ原因ハヨイ結果トナル</p> <p>(二) 生産ノ高ハ例年ノ通り</p> <p>(三) 需用ガ増スト供給モ増シテ來ル</p> <p><b>注意</b> (一) 前課ト連絡シテ資本勞力賃銀經濟思想ヲ養フベシ</p> <p>(二) 兒童ノ目撃セル實例ニヨリテ本課ヲ解釋セザルベカラズ</p> <p>(三) 言語ノ練習ニカヲ用フベシ</p>	<p><b>二二三、題目 運動の必要をすすむ</b> 二時間</p>	<p><b>一六、材料</b> 二時間</p> <p>新編小學作文書の代價</p>
---	------------------------------------	---

一八、題目 書物の價を問ひ合す 四時間

要項

形式 (一) 文庫、記載、書籍、出版、著者、御照會、委細、承知、目錄、揃ふノ讀解

實質 (一) 照會ノ心得 (二) 回答ノ心得 (三) 文庫設立ノ必要

應用 左ノ誤リヲ正サシムベシ 文庫を設けたくと存じ候

試問

- (一) なされるよしとなさる、よしトノ別
- (二) わかりかねるトわかりかねるトノ別
- (三) このたび別紙記載の書籍出版い書取

一、運動嫌ヒナル友人ニ運動セヨト勸ムルモノトス  
二、先ヅ運動ハ身體ヲ強壯ナラシムルノ良法ナル旨ヲ修述セシメンコトヲ要ス

三、終リニてにす鐵あれい遠足會ナド運動ノ方法ヲモ附説セシムベシ  
四、口語體トス

は何程なるか御手数知らから御報知下されたく候

(注)

一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ  
二、第十九課ト連絡スベシ

一七

二四、題目 火災保険に加入をすむ 一時間

一七、材料 二時間 前回ニ下清

たし候

(一) 目錄中の書籍は大抵取り揃へおき候

教具 書籍目錄 二三種

注意

- (一) 普通照會ニハ往復はがきモシクハ切手封入等ノ心得ヲ話スベシ
- (二) 書籍購讀ノ必要ヨリ文庫設立ノコトニ及ブベシ
- (三) 住友家ノ寄附ニカ、ル大阪圖書館ヲ附説スベシ
- (四) 新聞雜誌等ノ廣告ノミニヨリテ書籍ヲ注文スルノ不可ナルコトヲ注意スベシ

一九、題目 砂漠の船 五時間

要項

形式 (一) 炎熱、颶風、駱駝、肉峰、膝、跪く、脂肪、渴、免かる、避く、航海

一、讀本卷五第十七課一家の經濟ノ末節ヲ敷衍シテ火災保險ノ必要ヲ述ベテ加入ヲ勸ムルモノトス  
二、確實ナル火災保險會社ヲ紹介スベシ  
三、以文體トス

二五、題目 同返事 一時間

(注) 一、往文ニ準ズルモノトス

書セシ分

(注) 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

<p>一八</p> <p>ノ讀解</p> <p>實質 (一) 簡潔ナル敘事文ヲ示スニアリ (二) サワラ砂漠ノ旅行 (三) 駱駝ノ形質 (四) 駱駝ノ效用 (五) 自然物ニ對スル趣味</p> <p>應用試問 (一) 馬ト駱駝トノ形狀ノ異同 (二) 馬ト駱駝トノ性質ノ異同 書取 (一) 隊商は駱駝のため渴を防ぎ難を避くることを得 (二) 肉峰は脂肪質より成る 教具 駱駝ノ實物模型 世界地圖 注意 (一) 地理及ビ理科ト連絡シテサワラ砂漠オーシス駱駝ノ形質等ヲ説明スベシ (二) 旅行ノ困難及ビ快樂ヲ想起セシムベシ (三) サワラ砂漠ノ旅行ハ重ニ商人ナ</p>	<p>二六、題目 幻燈器 械の代價を問ひ 合す 一時間</p> <p>(注) 一、形式ハ讀本ノ卷五第十 九課書物の價を問ひ合す ニ準ズベシ 二、先方ハ商業家ニシテ手 前ハ通俗教育ニ盡サント スル團體ノ會ト假定スベ シ 三、ハ文體トス</p>	<p>一八、材料 二時間</p> <p>女生ノ讀本 第十九課 書物の價を 問ひ合す 女生ニ返事</p> <p>(注) 一、半紙又ハ半切ヲ 横ニシテ全面ニ練 習セシメ清書セシ ムベシ 二、細字ノ練習ヲ目 的トス</p>
<p>一九</p> <p>二〇、題目 象を捕ふる話 六時間</p> <p>要項 形式 (一) 柵、哩、遠卷ヲをとり、撫でる、 繋ぐ、馴れるノ讀解 (二) 口語ノ記事文ヲ示スニアリ</p> <p>實質 (一) 象ヲ捕フル準備 (二) 象ヲ捕フル方法 (三) 象ヲ訓ラス方法 (四) 獸類ヲ御スル法ヲ知ラシムル ニアリ</p> <p>應用 左ノ差異ヲ問フベシ (一) 哩ト涅 (二) 繫ト擊</p> <p>ルコトヲ附説スベシ (四) 隊商ノ勇氣アルコトヲ知ラシム ベシ</p>	<p>二七、題目 同返事 一時間</p> <p>(注) 一、幻燈器械ノ定價表ヲ添 ヘテ返事スルコト 二、其ノ他ハ往文ニ準ズベ シ</p>	<p>一九、材料 二時間</p> <p>千丈の堤も 蟻の穴より 崩る忠臣を 求むるには 孝子の門に 於てす</p> <p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ</p>

<p>(三) 馴ト訓 書取</p> <p>(一) 柵は四五哩もある (二) 鼻で撫で、ゐるうちに馴れる</p> <p><b>教具</b> 象ヲ捕フル圖</p> <p><b>注意</b> (一) をどりニツイテハめじろノをどり 鮎ノ友づり等ニヨリテ説明スベシ</p> <p>(二) 第二卷第十三課ト連絡スベシ</p>	<p>二二、題目 <b>世界の人種</b> 六時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 骨格、皮膚、容貌、眼睛、占む、褐色、髭、顎、唇、疎、野蠻ノ讀解 (二) 人種ニカ、ハル記事文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 人種ノ別 (二) 各人種ノ特徴</p>		<p>全面ニ練習セシメ 下清書セシムベシ 二、左ノ文字ノ書キ 方順序ヲ示スベシ 蟻、門、</p>
<p>二二〇</p>	<p>二九、題目 <b>植物園</b> 二〇、材料 の概況を知らす 二時間</p> <p>(注)</p>	<p>二〇、材料 前週ノ分 二時間</p> <p>(注)</p>	

<p><b>應用</b> 試問</p> <p>(三) 各人種ノ多少、開否、住地等</p> <p>(一) 歐羅巴人種ト亞細亞人種トノ差別</p> <p>(二) 亞弗利加人種ト亞米利加人種トノ差別</p> <p>書取</p> <p>(一) 骨格皮膚容貌毛髮等によりて五つの人種に分つ</p> <p>(二) 眼睛をく頭髮褐色にして髭多し</p> <p>(三) 顎つき出で唇厚く髭疎なり</p> <p><b>教具</b> 世界人種圖 世界地圖</p> <p><b>注意</b> (一) 地理ト連絡スベシ (二) 往々目撃スル所ノ外人ニツイテ 歐羅巴人種竝ニ支那朝鮮人等ヲ話スベシ (三) 本課ニ於テ普通名詞ト固有名詞トヲ説明スベシ</p>	<p>一、植物園ノアル場所植物ノ種類ヲ大要記述シ併セテ縦覽シテ感ジタ事ヲ知ラスモノトス</p> <p>二、文語體トス</p>	<p>一、文字ノ位置ヲ前回ト同ジク練習シ清書セシムベシ</p>
---	--	---------------------------------

<p>練習</p>	<p>三〇、題目 日本武尊 二時間</p>	<p>二一、材料 二時間 愛敬は父母に事ふる道なり</p>
<p>二二、二二、題目 我が國の國風 五時間</p> <p>要項 形式 (一) またとなく、一朝一夕、組織、安穩、情誼、間柄、協和、勇猛、剛武、皇統ノ讀解 (二) 口語體ノ敘事文ヲ示シテ言語ヲ練習スルニアリ</p> <p>實質 (一) ワガ國ノ成立 (二) 君臣ノ間柄 (三) 君子國タリ武勇國タル所以 (四) ワガ國ノ國體 (五) 愛國心ヲ養フニアリ</p> <p>應用 左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ (一) 御平定遊ばされてから</p>	<p>(注) 一、歴史修身等ニテ授ケシコトヲ回想セシメテ尊ノ御功績ヲ記シ奉ラシムベシ 二、和泉ノ大鳥神社河内ノ白鳥ノ陵等ヲ附記シ奉ラシムベシ 三、敬語敬稱ノ使用法ヲ誤ラザルヨ一注意スベシ 四、文語體トス</p>	<p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ 二、左ノ文字ノ書き方順序ヲ示スベシ 敬、母、</p>

<p>二三、題目 病院船 五時間</p> <p>要項 形式 (一) 遺憾、弘濟丸、施術室、調劑室、</p> <p>注意 (一) 歴史ト連絡シテ本課ノ意義ヲ例解説明スベシ (二) 國體ニツキテ諸外國ト比較セシコトヲ要ス (三) 練習文ハ本文ノ意ヲ取リテ約說セシモノナレハ應用トシテ口語體ニ譯セシムベシ</p>	<p>(二) 御同族であるから書取 (一) 國家の組織は一朝一夕に出来たのではない (二) 情誼も厚いから協和一致もできる (三) 勇猛剛武な國民である</p>	
---	--	--

一一一

篤志、熟練、載す、勿論、整頓ノ讀解

(二) 記事文ノ範ヲ示スニアリ

實質

(一) 病院船ヲ造リシ理由

(二) 病院船ノ構造竝ニ乗組員

(三) 病院船ノ事業

(四) 博愛慈善ノ心ヲ養フニアリ

應用

書取

(一) 弘濟丸は赤十字社の病院船である

(二) 熟練なる看護婦を載せて出發す

(三) わが國の赤十字事業は甚だ整頓せり

教具

世界全圖

注意

(一) 卷五第一及第三課ト連絡スベシ

(二) 病院船ノ構造ハ一般ノ病院等ニヨリテ想像セシムベシ

(三) 地圖ニヨリテコノ時ノ航路ヲ示スベシ

(四) 廣島豫備病院ニテ救護セシハ何

々國ノ軍人ナルカラ話スベシ

二四、題目 遠足の記事 六時間

要項

形式

(一) 未明、曉星、宵、草鞋、郊外、小憩、流域、採集、叢、獲物、攀ツ、喫スノ讀解

(二) 旅行記事文ヲ示スニアリ

實質

(一) 遠足旅行ノ準備

(二) 旅行ノ順序方法

(三) 旅行ノ有益ニシテ趣味アルコト

應用

左ノ異同ヲ問フベシ

(一) 白ミワタリヌト白ミワタラヌ

(二) 到ラヌト到リヌ

(三) 承リヌト承ラヌ

書取

(一) 草鞋ヲ穿テテ郊外ニ出ヅ

三一、題目 我が國 二二、材料

人ノ武勇ナルコト 二時間

前回ノ分 二時間

(注)

一、讀本ノ卷六第一課わが國の國風ノ第六節ヲ敷衍シテ綴ラシムベシ

二、歴史科ニテ學ビシ武勇ナル人物二三ヲ舉ゲテ修述セヨト命ジテ綴ラシムベシ

三、口語體トス

(注)

一、文字ノ位置ヲ前回ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

三三、題目 入院中 二三、材料

の友人にむくる 一時間

國體精華固 二時間

### 有美風孝悌 忠臣

- (注)
- 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ
  - 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ
- 體、華、

### 三三二、題目 同返事

一時間

- (注)
- 一、病院内ノ模様入院後ノ經過等ノ大要ヲ記シテ返事スルコト
  - 二、其ノ他ハ往書ニ準ズベシ

(二) 採集箱蟲取網ナドヲ手ニシテ叢ニ分ケ入ル

(三) 小憩シテ茶ヲ喫ス

### 教具

空氣銃 採集箱 蟲取網 野菊 桔梗 コホロギ バツタ等ノ實物標本

### 注意

(一) 遠足會ナドヲ催フシ本課ト相對比シテソノ效果趣味ヲ知ラシメザルベカラズ

(二) 動植礦物ノ採集地理歴史ノ研究ニ遠足會ノ必要ナルコトヲ知ラシムベシ

(三) 本課ニテ助辭ノ説明ヲヨク々々與ヘザルベカラズ

### 二二五、題目 木の葉と蝶々

四時間

### 要項

形式(一) さしをひて、枝のくさり、あや

### 二二四

つる、ふきすさぶ、霜、ちりまがふノ讀解  
(二) 韻文ヲ示シテ美感ヲ起サシムルニアリ

### 實質

- (一) 木ノ葉ハ蝶ヲ羨ミシコト
- (二) 蝶ハ木ノ葉ヲ羨ミシコト
- (三) 木ノ葉モ蝶モ或ハ枯レ或ハ死セシコト
- (四) 己ノ本分ヲ忘レテ人ノ身分職業ヲ羨ムマジキコト

### 應用書取

- (一) 春の霞に秋の霜
- (二) 木の下蔭に蝶を舞ふ

### 注意

- (一) 能ク朗誦セシメテ諷刺ノ巧妙ナルコトヲ知ラシムベシ
- (二) 修身科ト連絡シテ守分ヲ知ラシムベシ
- (三) 霞の奥云々ノ一節ハ綿密ニ解セシムベシ

### 三四、題目 遠足ノ利益

一時間

- (注)
- 一、讀本ノ卷六第三課遠足ノ記事ノ練習文ヲ文語體ニ譯セシムベシ
  - 二、句々原文ノ意ヲ失ハザルヨリ注意スベシ

### 三三五、題目 遠足會の通知

一時間

- (注)
- 一、南河内ノ玉手山ヘノ遠足會ヲ催スモノトス
  - 二、玉手山ヲ中心トセル地平線内ノ略圖ヲ添ヘテ通知スルコト
  - 三、口語體トス

### 二二四、材料

二時間

### 結婚結納誕生死亡葬儀法會

- (注)
- 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシメ後前回ノ分ト共ニ全面ニ下清書セシムベシ
  - 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ
- 誕、葬、



二二六、題目 コロンバス 九時間

要項

形式

(一) 答、説く、謁見、頼む、抜錨、疑ふ、怨む、漂ふ、放つ、朝霧、ありありノ讀解

(二) 話語體記事ヲ示シテ話シ方ヲ練習ス

實質

(一) コロンバスノ地理研究

(二) 航海ヲ企ツ

(三) 皇后イサベラ壯圖ヲタスク

(四) 航路ノ順序及ビ航海中ノ出來事

(五) 大陸發見

(六) コロンバスノ熱心ト忍耐

二二五

應用 試問

(一) 發明ト發見トノ別

(二) 航海日數ハ幾日カ

正誤

(一) 見なれぬ器物が漂ふてゐる

三六、題目 秋ノ景 二五、材料

色

二時間

注、一讀本卷二第八課秋の野山ヲ回想セシメテ綴ラ

前回ニ下清書セシ分 二時間

- (一) 一こ一取合ふて下さらぬ
- (二) 頼むより外はないと思ふて居た書取
- (三) 神戸港を抜錨した
- (四) コロンバスの言葉を疑うて大へん怨んださうな
- (五) 朝霧の下に陸地がありありとあらはれた

教具

世界地圖

注意

(一) 外國地理及ビ歴史ト連絡シテ正確ナル觀念ヲ得セシムベシ

(二) コロンバス世界大博覽會ヲ附説スベシ

(三) 天文トイフコトヲ例解スベシ

(四) コロンバス航海ヲ企テシ目的ニツイテハ誤解セシメザランコトヲ要ス

- ラシムベシ
- 二、秋ノ紅葉七草鳴蟲ナドノ野山ノ景色ヲソフルコトヲ修述セシムベシ
- 三、近郊ノ景ヲ寫サシムベシ
- 四、口語體トス

(注)

一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

二六二七、題目 米國ノ農業 五時間

要項

形式

(一) 開拓、田圃、一班、藍、玉蜀黍、豚、樅、樅ノ讀解

(二) 農用語ヲ用ヒタル記事文ヲ示スニアリ

實質

(一) 米國ノ地勢ノ農ニ適スルコト

(二) 大農法ノコト

(三) 米國ノ農産牧畜

(四) 米國ノ林産物

(五) 殖産興業ノ心ヲ養フニアリ

應用書取

(一) 山野ヲ開拓シテ田圃トス

(二) 驚クベキ廣大ナル牧場アリ

(三) 我が國モ農業ノ進歩ヲ圖ラザルベカラズ

教具

大農法ニ用フル農具 米國産ノ綿藍 玉蜀黍ナドノ實物標本 米國産ノ松 樅樅材片 米國地圖

三七、題目 農談會 二六、材料

の開會を相談す 一時間

二時間

(注)

一、農事改良ノ必要ヲ述ベテ農談會ヲ開カンコトヲ友人ニハカルモノトス

二、ソノ會場期日方法等ヲモ併セテ記サシムベシ

三、文語體トス

皇運ヲ扶翼シ國風ヲ顯彰ス荒野ヲ開拓シ移住ヲ獎勵ス

(注)

一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ

二、左ノ文字ノ書き方順序ヲ示スベシ

翼、住、獎、

三八、題目 同返事 一時間

一時間

(注)

一、往書ニ準ズベシ

注意

(一) 前課及ビ地理ト連絡スベシ

(二) 大農法ハ北海道ニテ少シ行ヘルコトヲ附説スベシ

(三) 米國ノ大農國ニシテ富メルコトヲ知ラシムベシ

(四) 我が國ト米國トノ農業物上ノ關係ヲ附説スベシ

(五) 練習文ハ本課第一節ノ譯文ナレハ相對比シテ授クベシ

二八、題目 棉花と綿布 五時間

要項

形式

(一) 棉花、播く、裂ける、摘む、篠卷軟、洗濯ノ讀解

(二) 實業用語ヲ用ヒタル記事文ヲ示スニアリ

實質

(一) 草棉ノ適地

(二) 古ノ綿絲製法

應用 試問

- (三) 今ノ綿絲製法
- (四) 綿布ノ功用
- (五) 工業志想ヲ養フニアリ

- (一) 綿絲製法ノ古ト今トノ差
- (二) 絹布ト綿布ト之ヲ用フルニ於テ衛生上ノ利害

- (一) 實裂けて棉花を吐けばこれを摘む
- (二) 衣服は綿布を用ひて常によく洗濯すべし

教具

- 草棉 棉花 綿木 篠卷白木綿 綿
- フランネル 木綿縮 金巾 綿織子
- 雲齊織 更紗 寒冷紗 ビロード
- 等ノ實物標本及ビ糸車機具ノ繪畫

注意

- (一) 紡績器械等ハ附近ノ紡績會社ヲ縦覽セシムベシ
- (二) ワガ國ノ紡績事業即チ棉花棉絲ノ輸出入額ヲ知ラシムベシ

三九、題目 農業

二時間

前回ノ分

二時間

- (注) 一、本邦農産物ノ重モナルモノヲ舉ゲテコレガ耕作法ヲ改良スルノ急務ナル所以ヲ記サシムベシ
- 二、本邦ハ氣候溫和土地肥沃ニシテ農作物ノ適地ナルコトヲ述ベシムベシ
- 三、話語體ニ綴ラシムベシ

- (注) 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

二九、題目 孟母

五時間

要項

形式

(一) 墓地、葬式、心うく思ふ、ほとり、遷る、猪、詐、廢す、致々ノ讀解

- (二) 傳記文(ヤ、優美ナル)ヲ示スニアリ

實質

- (一) 孟母三遷ノ教
- (二) 詐ニ注意セシコト
- (三) 斷機ノ教
- (四) 家庭教育ノ必要ヲ知ラシムルニアリ

應用

- 左ノ文語ヲ口語ニ改メシムベシ
- (一) 母はひとり心に思へらく

- (一) まさに智恵づかんとす
- (二) よく問ひて後はじめて知を廣むべし
- (三) 孟子それより致々として勉む書取

- (一) 學校の傍に遷り住む
- (二) 學問は中途にて廢すべからず

教具 孟子一部

- (一) 本課ヲ男兒ニ教フルニハ母訓ヲ守ルベキコトヲ説キ女兒ニ教フルニ母ノ子ニ及ボスノ大ナルコトヲ説キテ母ノ務ヲ知ラシムベシ即チ修身ト連絡スベシ
- (二) 孟子ノ書中ニアル卑近ナル格言ニ二三ヲ示シテ孟子ノ人トナリヲ説ケ
- (三) 孟母ガソノ子ヲ教フルタメニ非常ニ心ヲ勞セシコトヲクリカヘシク説クベシ

四〇、題目 紡績綿 二八、材料

絲の相場を問ひ合す 一時間

- (注) 一、本題ノ如キ實業的往復文ハ其ノ文辭ヲ簡ニシテ意義明カナランコトヲ要ス
- 二、機業家ヨリ綿絲商ニ問ヒ合スモノトス
- 三、以文體トス

四一、題目 同返事 一時間

- (注) 一、其ノ日ノ相場表ヲ添ヘテ返書スルコト
- 二、ソノ他ハ往書ニ準ズベシ

山川跋涉地 理探檢植物 採集廣告志 願採用 二時間

- (注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ
- 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 川、涉、理、集、

三〇、題目 子守女のせはをたのむ 三時間

要項

形式 (一) 雇ふ、周旋、希望ノ讀解

(二) 普通ノ依頼文ヲ示スニアリ

實質 (一) 子守女ヲ依頼スル事情

(二) 依頼ニ應ジタル人ノ好意

(三) 子守女ノ子ニ及ボス影響

(四) 交際ノ心得

應用書取

(一) 子守女を雇ひたく候へば御周旋下されたく候

(二) 溫和なる性質のものを希望いたし候

注意 (一) 前課ト連絡アラシムベシ

(二) 練習文ハ修身科ト連絡シテ下男下女子守女等ニ對スル心得ヲ知ラシムベシ

(三) 普通ノ往復文ニ於ケル敬語ノ用

<p>法ヲ説明スベシ (四) 子守女乳母ノ撰擇ノ必要及ビ方 法ヲ附説スベシ</p>	<p>二九三一、題目 老人の眼識 五時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 豪商、小僧、募集、靴、挨拶、眼 瞭、拾フ、確力ノ讀解 (二) 口語ノ記事文ヲ示シ話シ方ヲ 練習スルニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 人ヲ任用スル心得 (二) 身ヲ修ムルノ必要</p> <p><b>應用</b> 左ノ口語ヲ文語ヲ改ムベシ (一) 小僧ヲ一人雇ヒ入レヨウト思ッ テ新聞ニ廣告シタ (二) コレホド確カナモノハナイ 書取 (二) 一代ノ中ニ豪商トナツタノモ勤</p>
<p>四二、題目 孟子ガ 母ノ戒ヲ守リシ コトヲ記ス 二時間</p>	<p>(注) 一、讀本卷六第九課孟母ノ 末二節ヲ參照セシメテ綴 ラシムベシ 二、兒童各自ノ感ジヲ附記 セシムベシ 三、口語體トス</p>
<p>二九、材料 二時間</p> <p>保證紹介面 談鮭鱒鯉鮒 鯖鮎鯛鯉鮒 鰻蛤蟹</p>	<p>(注) 一、半紙ヲ横ニシテ 半面ニ練習セシテ 前回ノ分ト共ニ全 面ニ下清書セシム ベシ 二、左ノ文字ノ書キ 方順序ヲ示スベシ</p>

<p>勉ト儉約トノ徳デア (二) 挨拶ノ言葉ハ非常ニ明瞭デア タ</p> <p><b>注意</b> (一) 前課ト連絡アラシムベシ (二) 新聞廣告ノ必要ヲ知ラシムベシ (三) 本課ニ於ケル少年ノ心得ハ一般 兒童ノ實踐スベキコトナルコト修 身科ト連絡シテ授クベシ</p>	<p>三二二、題目 伊藤圭介 六時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 腊葉、寄附、蕃書、維新、擔當、 男爵、名譽教授、高齡ノ讀解 (二) 傳記文ノ範ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 圭介ノ幼時 (二) 圭介ノ蘭學時代 (三) 圭介ノ出仕時代</p>
<p>證、鱒、</p>	

應用 設問

- (四) 圭介ノ晩年並ニ功蹟
- (五) 研究心ヲ養フニアリ

(一) すでにト既にしてトノ別

(二) 洋書ト蕃書ト

書取

(一) 植物腊葉を博物館に寄附せり

(二) 維新の後大學に出仕して植物學の教授を擔當せり

(三) 華族に列し男爵を授けらる

教具

圭介翁ノ肖像 世界地圖 植物腊葉 標本二三種 圭介翁ノ著書二三種

注意

(一) 圭介ガ洋學ニ志ゼシ達觀ト其苦心トヲヨク知ラシメザルベカラズ

(二) 士族トハ維新後ノ名稱ニシテ其ノ當時ハ藩士トイヒシコヲト知ラシムベシ

(三) 九十九ノ高齢ニ達セシモ心身強健ナリシコトヲ深ク注意セシムベシ

四三、題目 丁稚を三〇、材料

世話す 一時間

前回ニ下清書セシ分

二時間

(注)

一、カネテ丁稚ノ世話ヲ頼マレシモノト假定スルコト

二、丁稚ノ生所年齢教育等ヲ述ベテ世話スルコト

三、形式ハ讀本ノ卷六第十課子守女のせわをたのみニ準ズベシ

(注)

一、文字ノ位置ヲ下

清書ト同ジクシテ

練習シ清書セシムベシ

四四、題目 同返事

一時間

(注)

一、往書ニ準ジテ綴ラシムベシ

三三、題目 動物の工藝 四時間

要項

形式

(一) 楮、醸造、密槽、意匠、鋸、蜘蛛、海狸、塗るノ讀解

(二) 口語ノ記事文ヲ示シ談話ヲ練習スルニアリ

實質

(一) 野蜂ノ巢ヲコシラヘルコト

(二) 蜜蜂ノ巢ヲコシラヘルコト

(三) 蠶ノ絲ヲコシムラヘルコト

(四) 蜘蛛蟻燕海狸等ノハタラク

(五) 動物ニ對スル研究心ヲ起サシ

(四) 翁ガ發見セシ植物モ多クシテ世界ニ於ケル有名ナル植物學者ナリシコト及ビ授爵ノコトヲ附說スベシ

(五) 修身ト連絡シテ研究ノ必要ナルコトヲ知ラシムベシ

應用

- 左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ
- (一) 野蜂は製紙家といひてよい
- (二) 蜜蜂は意匠に富んだ建築師ともいはねばならん

書取

- (一) 蜜蜂は蜜の醸造家である
- (二) 蜘蛛は美しい網を編む
- (三) 海狸の歯は鋸のよゝである

教具

- 野蜂 蜜蜂 蠶 蜘蛛 むぐらもち
- 燕 海狸 蜂ノ巢 蜂蜜 繭 燕ノ巢等ノ實物標本或ハ繪畫

注意

- (一) 理科ト連絡シテ正確ナル智識ヲ與フベシ
- (二) 動物ヲ坑夫大工左官等人的ニ擬シタルハ文章ニ味ヲ添ヘントテナシタルコトヲ知ラシメザルベカラズ

四五、題目 幼時ノ 三一、材料

心得 二時間

一時間

徴兵適齡現  
役豫備後備  
補充水雷艇  
進行器

- (注) 一、讀本ノ卷六第十一課老人ノ眼識ノ全文ノ意ヲ取リテ幼時ノ心得ヲ修述セシムベシ
- 二、口語體ニ綴ラシムベシ

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ
- 二、卷三ノ第二課及ビ卷六ノ第十八課ト連絡スベシ
- 三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ

三四、題目 動物の生存競争

六時間

要項

形式

- (一) 色彩、蟬、姿、徘徊、隙、觸角、桑樹、吸盤、麻痺、惡臭ノ讀解、
- (二) 動物用語ヲ用ヒタル記事文ヲ示スニアリ

實質

- (一) 色彩ヲ以テ其ノ身ヲマモル動物
- (二) 體形ヲ以テ其ノ身ヲマモル動物
- (三) 特種ノ機能ヲ具ヘテ其ノ身ヲマモル動物
- (四) 副物ニ對スル研究心ヲ起スニアリ

應用書取

- (一) 蟬はその色樹皮に似たり
- (二) 處々を徘徊して蟻の隙を窺ふ蜘蛛あり

(三) しびれぬひはその名の如く電氣を傳へて敵を麻痺せしむ

教具

たこ 蟬 みづかまきり 尺取蟲  
いか 竹節蟲 しびれぬひ くさが  
め等ノ實物標本或ハ繪畫 發電機

注意

(一) 理科ト連絡シテ正確ナル智識ヲ與フベシ

(二) 前課ト連絡シテ兒童ノ研究心ヲ起サシムベシ

(三) 本課ニ記載セザル他ノ二三ノ動物ヲアゲテ保護ノ具ヲ示スベシ

(四) 練習文ハ本文ヲ讀ミテ感シタルコトヲ記セルモノナルコトヲ知ラシムベシ

三五、題目 七福神の話 四時間

要項

形式(一) 打手の小槌、烏帽子、狩衣、藏

四六、題目 冷水浴 三三二、材料

を友人に勧む

一時間

(注)

一、冷水浴ノ衛生上有益ナルコトヲ述べ其ノ方法ヲモ附記シテ勸ムルコト

二、文語體トス

四七、題目 人間と動物と異なること

一時間

(注)

一、讀本ノ卷六第十四課動物の生存競争ノ練習文ヲ文語體ニ譯セシムベシ

二、原文ノ意ヲ失ハシメザルヨ一注意スベシ

二時間

發射管綿火

藥尊王攘夷

明治維新藩

籍奉還

(注)

一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシメ

後前回ノ分ト共ニ全面ユ下清書セシムベシ

二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ

藥、攘、籍、

めおく、矛、侮る、溢る、童顔、煩  
はすノ讀解

(一) 畫題的記事文ヲ示スニアリ

實質

(一) 七福神ノ由來

(二) 七福神ノ名稱及ビ其ノ徳相

(三) 諸種ノ道徳思想ヲ養フニアリ

應用

左ノ文語ヲ口語ニ改メシムベシ  
(一) 「上を見ることなかれ」との意を示せるものなるべし

(二) 人望の歸すべきことを寓せるなり

(三) 温厚篤實の相おのづから備はれり

書取  
(一) 容姿美麗にして溢る、ばかりの愛敬あり

(二) 童顔白髪なるは壽老人なり

教具 七福神ノ畫幅

注意 (一) 修身ト連絡シテ諸徳修養ノ必要ヲ知ラシムベシ

四八、題目 七福神

の由來を問はれ

しに答ふ一時間

三三三、材料

二時間

前回ニ下清



(二) 外貌ヲ装フヨリ内心ヲ正シクスルノ必要ヲ知ラシメテ各自ノ注意ヲ促スベシ

三六、題目 孔子 五時間

要項

形式

(一) 會計官吏、執政、奸臣、誅、文教  
倦ム、アシラヒ、歎ク、當世ノ讀解

實質

- (一) 孔子ノ幼時
- (二) 孔子ノ出仕時代
- (三) 孔子ノ遊説時代
- (四) 孔子ノ教育事業
- (五) 人格修養ノ必要

應用書取

- (一) 孔子執政ニアゲラレテ奸臣ヲ誅ス
- (二) 孔子シバシバ危難ニ出遇ヒタリ

書セシ分

(注)

一、文字ノ位置ヲ下書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

四九、題目 轉宅を知らす 一時間

(注)

- 一、轉宅セシコトヲはがきニテ友人ニ知ラストキトシテ綴ラシムベシ
- 二、ハ文體トス

教具

(二) 官吏ノ職ヲ辭シタリ  
支那戰國時代ノ歴史地圖 論語 孔子家語

注意

- (一) 本卷第九課ト連絡シテ孔孟ノ教ノ我が風教ヲ益セシコトヲ知ラシムベシ
- (二) 封建ノ有様ハ我が徳川時代ト比較シテ説明スベシ
- (三) 修身の智識ヲ與フベシ
- (四) 現時ノ物質的情慾ヲ求メメントテ目的トスルノ不可ナルコトヲ話スベシ

三四三七、題目 威海衛の激戦 五時間

要項

形式

(一) 扼す、屯す、侵入、應戦、全滅、提督、哀求ノ讀解

五〇、題目 開店を披露す 一時間

(注)

- 一、開店セシコトヲ廣告的ニ一般ニ披露スルモノト

三四、材料 二時間

出發の際に御見送り下され有りが

實質

- (一) 戰記文ノ範ヲ示スニアリ
- (二) 威海衛ノ要害及ビ防衛
- (三) ワガ陸軍ノ襲撃
- (四) ワガ海軍ノ進撃
- (五) 北洋艦隊ノ全滅
- (六) 忠愛ノ思想ヲ養フニアリ

應用書取

- (一) 諸隊を屯せしめて敵の侵入に備ふ
- (二) 灣口を扼する港なり
- (三) 提督丁汝昌は助命を哀求せず

教具

威海衛附近ノ地圖 伊東祐了丁汝昌ノ肖像畫 軍艦水雷艇ノ模型

注意

- (一) 前課ノ露國ト對照シテ威海衛ノ位置ヲ知ラシムベシ
- (二) 當時日清海軍力ヲ比較説明スベシ
- (三) 大寺少將戰死ノコトヲ附説スベシ

ス

- 二、簡單ニシテ明瞭ナランコトヲ要ス
- 三、以文體ニ綴ラシムベシ

五一、題目 マッチ

一時間

(注)

- 一、マッチノ效用ト取扱法
- 二、付テノ注意トヲ記サシムベシ
- 二、口語體トス

たぐ存じ候  
無事歸國  
たしたれば  
御安心下さ  
るべく候

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ

三五

三八、題目 水雷の話 六時間

要項

形式

- (一) 破壊、防禦、罐、爆裂、燐青銅、壓迫、アッタラサイゴ、驅逐艇、スサマジイノ讀解
- (二) 口語ノ記事文ヲ示シ話シ方ヲ練習スルニアリ

實質

- (一) 水雷發明ノ由來
- (二) 防禦水雷ノ構造使用法效力
- (三) 攻撃水雷ノ構造使用法效力
- (四) 軍事思想ヲ養フニアリ

應用書取

- (一) 水雷が爆裂スルトドンナ軍艦デモ破壊セラレル
- (二) 防禦水雷ハ鐵製ノ罐デコシラヘテアル
- (三) 空氣ヲ壓迫スレハ小サクナル左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ
- (四) アッタラサイゴ沈メラレテシマ

五二、題目 丁汝昌

一時間

(注)

- 一、讀本ノ卷六第六十七課威海衛の激戰ノ第六節ヲ敷衍シテ綴ラシムベシ
- 二、文語體トス

五三、題目 注文品

を催促す 一時間

(注)

- 一、はがきニテ催促スルモノトス
- 二、以文體トス

三五、材料

二時間

子守女一名  
雇ひ入れた  
しと存じ居  
り候ゆゑも  
し御心當も  
あらば御世  
話下された  
く候

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ前回ノ分ト共ニ全面ニ

下清書セシムベシ  
二、卷六第十課ト連  
絡スベシ

教具 魚形水雷 防禦水雷ノ模型 水雷艦  
ノ模型

注意 (一) 前課ト連絡シテ軍事思想ヲ養フ  
ベシ

(二) 空氣ヲ壓迫スルコトヤ綿火藥ノ  
爆裂スルコトヲ理科ト連絡シテ實  
驗説明スルヲ要ス

(三) 有名ナル水雷艇名ヲ擧グベシ

(四) 海軍圖說等ヲ参照シテ本課説明  
ノ資トスベシ

(五) 機會アラハ水雷艇ヲ縦覽セシム  
ベシ

(六) 練習文ハ本文ノ約説文ナルコト  
ヲ知ラシムベシ

<p>フ (二) スサマジイコトヲ知ルコトガ出 來ル</p> <p>教具 魚形水雷 防禦水雷ノ模型 水雷艦 ノ模型</p> <p>注意 (一) 前課ト連絡シテ軍事思想ヲ養フ ベシ</p> <p>(二) 空氣ヲ壓迫スルコトヤ綿火藥ノ 爆裂スルコトヲ理科ト連絡シテ實 驗説明スルヲ要ス</p> <p>(三) 有名ナル水雷艇名ヲ擧グベシ</p> <p>(四) 海軍圖說等ヲ参照シテ本課説明 ノ資トスベシ</p> <p>(五) 機會アラハ水雷艇ヲ縦覽セシム ベシ</p> <p>(六) 練習文ハ本文ノ約説文ナルコト ヲ知ラシムベシ</p>		<p>下清書セシムベシ 二、卷六第十課ト連 絡スベシ</p>
---	--	--

三九、題目 川中島の戦 六時間

要項

形式 (一) いで、整々、猶豫、鞭のおとな  
ひ、肅々、隊伍、小手、雌雄、さし  
かざす、ぬきかざすノ讀解

(二) 韻文ノ美ヲ知ラシムルニアリ

實質 (一) 川中島ノ戦況

(二) 信玄謙信ノ武勇

應用書取

(一) 人馬整々勇み進む

(二) 鞭聲肅々川を渡る

(三) 隊伍堂々進み行く

(四) 猶豫なく斬りかかる

教具 戦國時代ノ歴史地圖

注意 (一) 本卷第十七課ト連絡シテ古今戦  
略ノ異同ヲ知ラシムベシ

(二) 歴史ト連絡シテ戦國時代群雄割  
據ノ有様ヲ知ラシムベシ

(三) 本課ハヨクヨク朗誦セシメテソ

五四、題目 業務ノ

一 撰擇 二時間

三六、材料

二時間

前回ニ下清  
書セシ分

(注)

一、文字ノ位置ヲ下  
清書ト同ジクシテ  
練習シ清書セシム  
ベシ

(注)  
一、主トシテ業務撰擇ノ標  
準方法ヲ詳述セシムルモ  
ノトス  
二、自己ノ性質技量家庭ノ  
事情地方ノ情況等ヲ酌量  
シテ撰擇スベキコトヲ記  
サシムベシ  
三、文語體トス

<p>三六</p> <p>三九、題目 川中島の戦 六時間</p> <p>要項</p> <p>形式 (一) いで、整々、猶豫、鞭のおとな ひ、肅々、隊伍、小手、雌雄、さし かざす、ぬきかざすノ讀解</p> <p>(二) 韻文ノ美ヲ知ラシムルニアリ</p> <p>實質 (一) 川中島ノ戦況</p> <p>(二) 信玄謙信ノ武勇</p> <p>應用書取</p> <p>(一) 人馬整々勇み進む</p> <p>(二) 鞭聲肅々川を渡る</p> <p>(三) 隊伍堂々進み行く</p> <p>(四) 猶豫なく斬りかかる</p> <p>教具 戦國時代ノ歴史地圖</p> <p>注意 (一) 本卷第十七課ト連絡シテ古今戦 略ノ異同ヲ知ラシムベシ</p> <p>(二) 歴史ト連絡シテ戦國時代群雄割 據ノ有様ヲ知ラシムベシ</p> <p>(三) 本課ハヨクヨク朗誦セシメテソ</p>	<p>五四、題目 業務ノ</p> <p>一 撰擇 二時間</p>	<p>三六、材料</p> <p>二時間</p> <p>前回ニ下清 書セシ分</p> <p>(注)</p> <p>一、文字ノ位置ヲ下 清書ト同ジクシテ 練習シ清書セシム ベシ</p>
--	----------------------------------	--

ノ韻文ノ美ヲ感ゼシムベシ  
(四) 鞭聲肅々云々ノ詩ヲ教フベシ

### 四〇、題目 逸話三題 四時間

#### 要項

#### 形式

(一) 畿内、取るものも取りあへず、主従、なきものには、大儀、大小、寸志、詰る、すむすむ、肖像、機嫌ノ讀解

(二) 逸話ノ談話文ヲ示スニアリ

#### 實質

(一) 大関ノ大量

(二) 揚震ノ廉潔

(三) 山陽ノ眞率

(四) 道德思想ヲ養フニアリ

#### 應用

左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ

(一) ちよつと立ちどまった  
(二) それでも知るものがないといふのか

三七

### 五五、題目 新聞紙に廣告を依頼す 一時間

(注) 一、廣告ノ原稿並ニ廣告料

### 三七、材料

二時間

讀本第二十二課逸話三題中ノ揚震ノ

(三) 余はこんなりつばな男ではない  
書取

(一) 畿内は五箇國あり

(二) 揚震は諛ふものを詰つた

(三) 肖像がりつばな男だったのでかへつて機嫌をそこねた

#### 教具

山陽 秀吉 揚震等ノ肖像畫

#### 注意

(一) 歴史修身等ト連絡ヲ求メテ道德思想ヲ養フベシ

(二) 揚震ニツイテハ蒙求等ニヨリテ其ノ時代人物ノ大要ヲ話スベシ

### 四一、題目 郷里の弟に遣はす 四時間

#### 要項

#### 形式

(一) 小包郵便、叔父様ノ讀解  
(二) 勸誘文ノ模範ヲ示スニアリ

#### 實質

(一) 弟ニ勉學ヲ勸ム

#### 廉潔ノ項

(注)

一、半紙ヲ横ニシテ、全面ニ練習セシメ

清書セシムベシ

二、細字ノ練習ヲ目的トス

ヲ添ヘテ新聞社ニ申込ムモノトス  
二、ハ文體トス

### 五六、題目 手附金を送る 一時間

を

(注)

一、商品ノ買求ヲ約束スル

タメニ手附金ヲ送ルモノトス  
二、ハ文體トス

<p>三八</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(一) 小包郵便にてお送り申し上げ候 (二) 御叔父様にもよろしく御傳へ下 さい (三) 一週間ばかり休み居り候</p> <p><b>注意</b></p> <p>(一) 本課ニヨリテ言語ヲ練習スベシ (二) 小包郵便規則ノ大要ヲ話スベシ</p>	<p>四二、題目 釋迦 四時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 衆生濟度、僧侶、刻苦、默想、教 旨、階級、平等、慈眼ノ讀解 (二) 傳記文ノ範ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 釋迦ノ生所幼時 (二) 釋迦教義ヲキハメ佛教ヲ創説 ス</p>
<p>五七、題目 われ等 の前途 二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、前途望ミ多キコトヲ詳 述セシメテ少年時代ニヨ ク其ノ望ミヲ遂ゲ得ルヨ ク智徳體ノ三ツヲ完全ニ スベキコトヲ記サシムベ シ</p> <p>二、口語體トス</p>	<p>三九</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(三) 四方ニ佛教ヲ弘ム (四) 佛教ノ大要ヲ知ラシム</p> <p><b>應 用</b></p> <p>(一) 衆生濟度ノ志切なり (二) 僧侶につきて教を受け道を修む (三) ひとり雪山に入りて默想す (四) 一切平等の慈眼を以て道を説く</p> <p><b>教具</b> 天竺ノ圖</p> <p><b>注意</b> (一) 本卷第十六課ト連絡ヲ求ムベシ (二) ばらもん教 佛教ノ大要ヲ説明 セザルベカラズ (三) 佛教傳來ヨリ現今マデノ佛教沿 革大要ヲ話シテ歴史科ト連絡ヲ求 ムベシ (四) 信仰ト迷信トヲ明カニ區分セシ ムベシ (五) 耶蘇教天理教等ノコトモ附説ス ベシ</p>
<p>三八、材料 二時間</p> <p>海外諸國を 遊歴し風土 文物を視察 す</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ縦ニシテ 半面ニ練習セシム ベシ 二、左ノ文字ノ書キ 方順序ヲ示スベシ 海、遊、</p>	<p>五八、題目 友人に 與ふ 二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、形式ハ讀本ノ卷六第二 十一課郷里の弟につかは すニ準ズベシ 二、運動遊戲ニノミ耽レル 友人ニ與フルモノトス 三、ハ文體トス</p>

<p>三九</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(三) 四方ニ佛教ヲ弘ム (四) 佛教ノ大要ヲ知ラシム</p> <p><b>應 用</b></p> <p>(一) 衆生濟度ノ志切なり (二) 僧侶につきて教を受け道を修む (三) ひとり雪山に入りて默想す (四) 一切平等の慈眼を以て道を説く</p> <p><b>教具</b> 天竺ノ圖</p> <p><b>注意</b> (一) 本卷第十六課ト連絡ヲ求ムベシ (二) ばらもん教 佛教ノ大要ヲ説明 セザルベカラズ (三) 佛教傳來ヨリ現今マデノ佛教沿 革大要ヲ話シテ歴史科ト連絡ヲ求 ムベシ (四) 信仰ト迷信トヲ明カニ區分セシ ムベシ (五) 耶蘇教天理教等ノコトモ附説ス ベシ</p>	<p>五八、題目 友人に 與ふ 二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、形式ハ讀本ノ卷六第二 十一課郷里の弟につかは すニ準ズベシ 二、運動遊戲ニノミ耽レル 友人ニ與フルモノトス 三、ハ文體トス</p>
<p>三九、材料 二時間</p> <p>國を肇むる 宏遠徳を樹 つる深厚</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ縦ニシテ 半面ニ練習セシメ 後前回ノ分ト共ニ 下清書セシムベシ 二、勅語ニ連絡スベ シ</p>	<p>三九</p> <p><b>應用書取</b></p> <p>(三) 四方ニ佛教ヲ弘ム (四) 佛教ノ大要ヲ知ラシム</p> <p><b>應 用</b></p> <p>(一) 衆生濟度ノ志切なり (二) 僧侶につきて教を受け道を修む (三) ひとり雪山に入りて默想す (四) 一切平等の慈眼を以て道を説く</p> <p><b>教具</b> 天竺ノ圖</p> <p><b>注意</b> (一) 本卷第十六課ト連絡ヲ求ムベシ (二) ばらもん教 佛教ノ大要ヲ説明 セザルベカラズ (三) 佛教傳來ヨリ現今マデノ佛教沿 革大要ヲ話シテ歴史科ト連絡ヲ求 ムベシ (四) 信仰ト迷信トヲ明カニ區分セシ ムベシ (五) 耶蘇教天理教等ノコトモ附説ス ベシ</p>

四〇練習

五九、題目 旅行の四〇、材料

樂み 二時間

二時間

前回ニ下清書セシ分

(注) 一、旅行シテ名山大澤古跡ヲタヅヌル樂シサヲ想像的ニ記述セシムルモノトス  
二、口語體トス

(注) 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

--	--	--

高等小學校第四學年國語科教授細目

教科書

新編國語讀本高等小學校用

卷七、八

新編國語習字帖 卷七、八

週 種 目	讀ミ方	綴リ方	書キ方
<p>一一、題目 振天府 五時間</p> <p>要項</p> <p>形式 (一) 戦捷、清ゲ、弩、サコソ、信管、薬杖、釣、畏クモ、小亭、英魂、祀ラル、忝ウスノ讀解</p> <p>(二) 最敬語ヲ用キタル記事文ヲ示スニアリ</p> <p>實質 (一) 振天府ヲ建テシメラレシ御旨趣</p> <p>(二) 陳列品、釣花瓶</p> <p>(三) 有光亭</p> <p>(四) 参考室</p>	<p>一、題目 道眞公 二時間</p> <p>(注) 一、歴史ニテ授ケシ事項ヲ記サシムベシ</p> <p>二、天満神社竝ニ其ノ一千年祭ノコトヲ附記セシムベシ</p> <p>三、口語體トス</p>	<p>一、材料 二時間</p> <p>王事に死するは男兒の本領なり</p> <p>(注) 一、第一第二課ト連絡スベシ</p> <p>二、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ</p> <p>三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ</p>	

王、男、兒、

應用

(五) 忠臣ノ心ヲ養フニアリ  
左ノ語ヲ比較セシムベシ

(一) 宮城ト皇居

(二) 戦争ト戦役

(三) 戦利品ト分捕品

(四) 戦捷ト戦勝

書取

(一) 釣花瓶ハ畏クモ 陛下ノ御意匠  
ニ成リシモノト承ル

(二) 軍人ノ英魂靖國神社ニ祀ラル

教具

櫻田門ヨリ皇城ヲ仰ギ見ル圖 弓弩  
劔、槍、銃、砲、水雷等ノ模型

注意

(一) 修身ニ連絡ヲ求メテ 陛下ノ軍  
事ニ御心ヲ用ヒサセ給フコト 戰  
没將卒ヲ思ハセ給フコトヲ知ラシ  
ムベシ

(二) 有栖川宮北白川宮兩殿下ノ御傳  
記ヲ略述スベシ

(三) 二十七八年戦役ノコトヲ大略話  
スベシ

(四) 靖國神社ハ如何ナル神社ナルカ  
ヲ知ラシメザルベカラズ  
(五) 最敬語ノ成立ニツイテ説明セザ  
ルベカラズ

二、題目 武士道

四時間

要項

形式

(一) 尙ふ、都人士、文弱、めめしき、  
家系、特性、而して、弊、扶く、東  
洋ノ讀解

(二) 理論的記事文ノ範ヲ示スニア  
リ

實質

(一) 武士道ノ由來  
(二) 武士道ノ發達  
(三) 武士道ノ效果  
(四) 尙武的精神ヲ養フニアリ

應用書取

(一) わが國古來武を尙ふの風盛なり

二、題目 明治紀念

碑

二時間

(注)  
一、明治紀念碑ノ形チ大サ  
位置ヲ記サシムベシ

二、元中之島公園ニアリシ  
コトヲ記サシムベシ

三、該碑ハ何ノ爲ニ設ケラ

二、材料 二時間

奢侈ノ弊チ  
改メ質素ノ  
風ヲ養フ

(注)

一、半紙ヲ縦ニシテ  
半面ニ練習シ前回  
ノ分ト共ニ全面ニ

<p>要項 形式(一) 百千鳥、千草、くまなく、譬ふ、</p>	<p>三、題目 やまゝ島根 五時間</p> <p>注意(一) 本課ハ抽象的ノ語句多ケレバ歴史ト連絡シテ例解スルヲ要ス (二) 卷三第四課日本刀の歌ヲ唱ハシテ尙武的精神ヲ養フベシ (三) 練習文ハ本文ヲ讀ミテ感ゼシコトヲ記セシモノナルコトヲ知ラシムベシ (四) 勇武ノ鐵、忠義ノ槌ナドノ譬喩的文字ハヨク説明セザルベカラズ</p>
	<p>レタルモノナルカラ稍詳シク述ベシムベシ 四、文語體トス</p>
	<p>下清書セシムベシ 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 弊、素</p>

<p>應 用 設 問</p> <p>(一) 譬へました譬へまじト別 (二) あわノ如キ體言ニ屬スル感歎詞ヲ示セ</p> <p>書 取</p> <p>(一) みごとは何に譬へまし (二) 紅葉の錦花の綾 霞の衣瀧の絲</p> <p>注意(一) 前課ト連絡シテワガ國ノ純美ナルコトヲ知ラシムベシ (二) 天然ノ風景ハ大イニ吾人ノ品性ヲ左右スルモノタルコトヲ知ラシ</p>	<p>實 質</p> <p>(一) ワガ國ノ風景ノ佳ナルコト (二) ワガ國ノ國體世界無比ナルコト (三) ワガ國ノ富強ナルコト (四) 愛國心ヲ養フニアリ</p> <p>花の綾、梯と信、八束穂ノ讀解 (二) 韻文ノ美ヲ感セシメントスルニアリ</p>
<p>三、題目 武徳會に入るを勧む 一時間</p> <p>(注) 一、讀本卷七第二課武士道ヲ参照セシムベシ 二、武徳會ノ組織目的等ヲ述ベテ入會ヲ勧誘スルモノトス 三、ハ文體トス</p>	
<p>三、材料 二時間 前回ニ下清書セシ分</p> <p>(注) 一、文字ノ位置ヲ下清書ト同様ニシテ練習シ清書セシムベシ</p>	



ムベシ	<b>四、題目 同返事</b> 一時間 (注) 一、往文ニ準ズベシ	
<b>四、題目 日光</b> 八時間 <b>要項</b> <b>形式</b> (一) 廟、冠たり、假橋、鐘樓、蓮、彫刻、傾く、唐門、牡丹、わたかまるうそぶく、映す、大寶塔、靈屋、鍍金、湖畔ノ讀解 (二) 美文的記事文ヲ示スニアリ <b>實質</b> (一) 日光ノ位置及ビ由來 (二) 陽明門 (三) 拜殿、本殿、大寶塔、靈屋ノコト (四) 日光及ビ附近ノ勝地 (五) 美術上ノ智識ヲアタセテ美情ヲ養フニアリ <b>應用書取</b> (一) 日光廟の唐門の彫刻は精妙を極めたり	<b>五、題目 わが國の國體</b> 二時間 (注) 一、歴史科ニテ授ケタルコトヲ想起センメテ讀本卷七第三課やまど島根ノ第一、讀本ノ第一課振	<b>四、材料 二時間</b> <b>戰捷紀念御庫振天府有光亭</b> (注) 一、讀本ノ第一課振

<b>教具</b> 日本地圖 日光之圖 日光ノ寫眞 <b>注意</b> (一) 地理ト連絡シテ日光ノ位置及ビ地理的説明ヲナスベシ (二) 歴史ト連絡シテ家康家光ノコトヲ話スベシ (三) 本課ニ於テ助詞省略ノコトヲ説明スベシ (四) 本課ハ美術的ニ記述セルトコロ多ケレバ注意シテ授クベシ (五) 練習文ハ本文ノ日光の山中には以下ヲ譯セシモノナルコトヲ相比較シテ授クベシ	三四節ヲ敷衍セシムルモノトス 二、抽象的ニ記述セシムルコトナク能ク例ヲ舉ゲザルベカラズ 三、口語體トス	天府ト連絡スベシ 二、半紙ヲ縦ニシテ半紙半面ニ練習セシムベシ 三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ 戰、捷、
--	---	--

五、題目 日光の華麗なるを知らす

四時間

要項

形式 (一) 諺、木地細工、御土産、噂、匆々ノ讀解

(二) 報知文ノ範ヲ示スニアリ

實質 (一) 日光ノ華麗ナルコトヲ友人ニ知ラシ土産ヲオクル

(二) 好意ヲ謝シ己モ亦見物セントノ思ヒ起ル

應用書取

(一) 諺にも日光を見ないうちは結構をいふなどいふてある

(二) 噂をすれば影がさす

設問

(一) 諺ト噂トノ別

教具 日光ノ木地細工ニツツ

注意 (一) 前課ト連絡スベシ

(二) 本課ハ女子ノ書狀ナレバ男兒ニ

六、題目 日光ノ山水秀麗風光明媚宮殿華美

一時間

(注) 一、讀本卷七第四課ノ練習文ヲ文語ニ譯セシムルモノトス

二、原文ノ意ヲ失ハザルヨ

一注意スベシ

(注) 一、讀本ノ第四課日光ト連絡スベシ

二、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ

三、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ

麗、殿、華、

七、題目 住吉公園ニ遊ビシ記

一時間

(注) 一、校外運動ヲ利用シテ住吉ニ遊バシムベシ

二、住吉ニ遊ビテ目ニ觸レシモノ即チ住吉神社そり橋高燈籠松原植物園等ヲ

記述セシムベシ  
三、口語體トス

授クルニハソノ心得ナカルベカラズ  
(一) 紅葉のころ出掛け申さん云々ニツキテ日光山ノ紅葉ノ見事ナルコトヲ話スベシ

六、題目 孝女熊野 五時間

要項

形式 (一) 罹つた、心だて、揉む、萎る、逢ふ、筵ノ讀解

(二) 人ノ行爲ヲ記述スル法ヲ示ス

實質 (一) 熊野ガ母ヲ孝養セシコト

(二) 熊野ガ宗盛ニ事ヘシコト

(三) 徳性ヲ養フニアリ

應用書取

(一) 病に罹つたのでたいそ一氣を揉んだ

(二) うち萎れてゐたのも母に逢はれ

ぬからである

左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ

(一) 花は散らうとも春がくればまた  
咲く

(二) 心のうちをそれとなしに知らせ  
た

注意

(一) 歴史ト連絡シテ宗盛ノコトヲ大  
略話スベシ

(二) 熊野ハ遠江國ノ生レナルコトヲ  
附説スベシ

(三) 本課ニ於テ話シ方ノ練習ヲ十分  
ニナスベシ

七、題目 風流三題

四時間

要項

形式

(一) 朗詠、寛仁、答め、上聞、煖む、  
ほがらか、即吟、やよひ、馬蹄、俳  
人、風情、口ずさむノ讀解

八、題目 大阪城の

宏壯なることを

知らず 二時間

(注)

一、大阪城内ヲ縦覽シテ其  
ノ宏壯ナルコトヲ友人ニ  
知ラスモノトス

二、高キ石垣ト深キ濠トニ  
ヨリテイヨイヨ豊公ノ偉  
人ナリシコトヲ記サシム  
ベシ

三、豊公時代ニ於ケル大阪  
城ヲ附記セシムベシ

四、大阪城ノ寫眞數葉ヲ贈  
ルモノトス

五、形式ハ讀本卷七第五課  
日光の華麗なるを知らず  
ニ準ジシ文體トス

六、材料 二時間

前回ニ下清  
書セシ分

(注)

一、下清書ト文字ノ  
位置ヲ同ジクシテ  
練習シ清書セシム  
ベシ

實質

(一) 高倉天皇の御朗詠  
(二) 八幡太郎ノ即吟  
(三) 千代のもらひ水

(四) 高雅心ノ修養ニ資スルニアリ

應用 設問

(一) やがてトとりあへず  
(二) 朗詠ト即吟  
(三) 途中ト道中  
書取

(一) 林間酒を煖むるに紅葉を焚く

(二) あさがほに釣瓶とられてもらひ  
水

注意

(一) 三題トモ歴史ト連絡シテソノ年  
代ヲ知ラシムベシ  
(二) 本課ニハ美的語句多クレバヨク  
例解シテ授クベシ

(三) 審美的ニ讀マシムベシ

(四) 詩、歌、俳諧ノ異同ヲ説明スベシ

七

(五) 千代女ガ蘆元坊ニツイテ學ビシ  
コトヲ詳シク附説スベシ

八、題目 ペートル大帝 四時間

要項

形式

(一) 跨る、野鄙、實況、微行、斧、購ふ、調理ノ讀解

(二) 傳記文ノ模範ヲ示スニアリ

實質

(一) 大帝即位前ノ露國

(二) 大帝ノ歐洲へ微行中ノコト

(三) 大帝歸國後ノ露國

(四) 百折不撓ノ志ヲ起サシムルニアリ

應用

左ノ文語ヲ口語ニ改ムベシ

(一) 一として見るべきものなかりき

(二) いかにもして自國を富強ならしめんとせり

填字法

九、題目 親の病氣

を遠方の兄弟に

知らす 一時間

(注)

一、自分ノ兄弟ガ奉公或ハ遊學ノ爲メ遠方ニアラ

ノトス

二、父ハ久シク病床ニアル

コトヲ兄弟ニ知ラスモノ

トス

三、病氣ノ容體ヲ詳シク記

述セシムルモノトス

四、口語體トス

一〇、題目 同返事

一時間

(注)

一、一時モ早ク許シヲ得テ

七、材料 二時間

餛飩蕎麥素

麵慈姑蓮根

甘藷

(注)

一、半紙ヲ縦ニシテ

半面ニ練習セシム

ベシ

二、左ノ文字ノ書キ

方順序ヲ示スベシ

餛、麥、

八

九、題目 孝子の馬鈴薯 十時間

要項

形式

(一) 穴倉、艱難、つかつか、捜す、副官、臆せず、姿勢、控へる、晚餐、卓上の皿、山海の馳走ノ讀解

(二) 口語ノ記事文ヲ示スニアリ

(三) 孝子ノ性質及ビ父ノ手紙

(四) 孝子ノ志

實質

教具

世界全圖

(一) 大帝時代ニ於ケル和蘭國ノ文明ヲ知ラシメザルベカラズ

(二) 大帝變名ニツキテハ兒童ヲシテ誤解セシメザルヨリ注意スベシ

(一) 大帝の□□にあるや名を變じてある□□の職工となれり

(二) 露國△△△世界の強國たらしめられけり

歸リ父ヲ看護セントノ意ヲ記述セシムベシ

二、其ノ他ハ往文ニ準ズベシ

一一、題目 勿來關

のうた 一時間

八、材料 二時間

膳碗茶碗鉢

杯鍬鎌藁繩

應用書取

- (三) 孝子父ヲ旅團ニタツヌ
- (四) 副官將校ソノ志ニ感ズ
- (五) 孝子ト父トノ對面
- (六) 徳性ヲ養フニアリ

(一) 艱難辛苦してつひに父を捜し出した

(二) 少しも臆せず直立したその姿勢はいかにも兵士らしい

左ノ口語ヲ文語ニ改ムベシ

(二) どうかしてこれを父上にあげたものである

(二) これからお前に晚餐を上げよう

教具 歐羅巴全圖

注意

(一) 主トシテ話シ方ヲ練習スベシ

(二) 地理ト連絡シテ地名ヲ示スベシ

(三) 普佛戦争ノ大要ヲ知ラシメザルベカラズ

(四) 本課ニ於テ左ノ例ヲ示シ指示代名詞ヲ説明スベシ

俵笥

(注)

一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ

二、左ノ文字ノ書き方順序ヲ示スベシ  
膳、繩、

一、八幡太郎ノ勿來關ニテ即吟セシ  
吹く風をなこそその關と  
思へどもみちもせに散る山さくらかな  
歌ノ意義ヲ記述セシムルモノトス

二、口語體ナルベシ

一二、題目 學校の模様を知らす

一時間

(注)

一、久シク缺席セル學友ニ學校ノ近況並ニ諸教科ノ進歩等ヲ知ラスモノトス

二、口語體トス

一三、題目 入營中

九、材料 二時間

- その馬鈴薯、この馬鈴薯、かの馬鈴薯
- (五) 孝子ノ至情ニ感ゼシメンコトヲ要ス
  - (六) 練習文ハ本文ヲ約説セシモノナルコトヲ授クベシ

一〇、題目 フランクリン

五時間

要項

形式 (一) 蠟燭、石版、印刷所、更ク、書肆  
壓倒、奮激、脱ス、媾和談判、逝去  
喪ノ讀解

(二) 傳記ノ模範ヲ示スニアリ

實質

時代

(二) 實業家トナリ公共ノ事ニツクシ且ツ避雷針ヲ發明セシコト

の兄におくる

一時間

(注)

一、我が兄ノ起居ヲタツネ且ツ家庭團樂ノ模様ヲ詳シク知ラスモノトス

二、ハ文體トス

一四、題目 同返事

一時間

(注)

一、我レヲ入營セル軍人ニ擬シテ往文ニ對シ軍隊生活ノ一班ヲ知ラスモノトス

二、他ハ往文ニ準ズベシ

前回ニ下清書セシ分

(注)

一、下清書ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

- (三) 獨立戰爭ノ原因結果
- (四) 政治家トシテノフランクリン
- (五) 偉人ノ功績ヲ敬慕セシムルニアリ

應用 設問

- (一) フランクリンノ職工時代ノ苦學ヲ語レ
- (二) 避雷柱發明ノ由來ヲ問フ書取

- (一) 幼時父ヲ助ケテ蠟燭石鹼ノ製造ニ從事セリ
- (二) 下之關ニテ媾和談判ヲ開キタリ
- (三) 帝國々會ノ決議

- (一) 北亞米利加圖
- (二) 艱苦ノ中ニアリテ學問ノ修養ニ力ヲ盡セシコトヲ想ハシムベシ
- (三) 避雷柱發明ニツイテハ如何實驗ヲナセンカヲ知ラシムベシ
- (四) 米國獨立戰爭ノ大要ヲ知ラシムベシ

教具 注意

- (一) 艱苦ノ中ニアリテ學問ノ修養ニ力ヲ盡セシコトヲ想ハシムベシ
- (二) 避雷柱發明ニツイテハ如何實驗ヲナセンカヲ知ラシムベシ
- (三) 米國獨立戰爭ノ大要ヲ知ラシムベシ

一五、題目 避雷針

二時間

- (注) 一、避雷針ノ形狀構造發明ノ由來效用等ヲ記述セシムルモノトス
- 二、我が校ノ屋上ニ避雷針アルコトヲ附記セシムベシ

一〇、材料

二時間

不自由を常に思へば不  
 足なしに釣瓶  
 朝顔を釣瓶  
 取られて貰  
 ひ水

- (四) 共和政體ノコトモ話スベシ
- (五) 本卷第八課ト連絡シテ艱難ハ人ヲ玉ニスルコトヲ知ラシムベシ

一一、題目 電氣の應用 五時間

要項

形式

- (一) 摩擦、弧光燈、瓦斯、鍍金術、偵察、信號、肢體、なかなかノ讀解
- (二) 科學的記事ヲ示スニアリ

實質

- (一) 電氣發生ノ由來
- (二) 電信 電話 電氣車 電燈
- (三) 鍍金術
- (四) 地雷 水雷 醫師
- (五) 電氣ノ應用ノ廣マリツ、アルコトニ注意スベシ

應用 書取

- (一) 海上を偵察し信號を傳ふ
- (二) 電氣の應用もつまりは智識の應

三、口語體トス

(注)

- 一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ
- 二、讀本ノ第七課風流三題中ノ千代のもらひ水ト連絡スベシ
- 三、左ノ文字ノ書き方順序ヲ示スベシ

<p>用である 左ノ口語ヲ文語ニ改ムベシ (一)電氣の應用はなかなか廣いものである (二)此まで進歩するか分らない</p> <p><b>教具</b> 琥珀 起電機 電信 電話 鍍金術等ニ用フル器械</p> <p><b>注意</b> (一)前課避雷柱發明ノ項ト連絡スベシ (二)實驗シテ其ノ理ヲ示スベシ但シ理科ト連絡スルヲ要ス (三)本課ニ於テ話シ方ヲ主トシテ練習セシムベシ (四)練習文ハ本文ヲ約説シタルモノナルコトヲ教フベシ</p>	<p>一六、題目 電話加入を申込む 一時間</p>	<p>一一、材料 二時間 前回ノ分</p>
<p>一一二、題目 地下の古都會 五時間</p>	<p>一七、題目 電氣の應用 一時間</p>	<p>(注) 一、前回の文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ</p>

<p><b>形式</b> (一)遺骸、乃至、羅馬、埋没、口碑、開掘、環らす、大厦、凱旋門、街衢らば石、劇場、優美ノ讀解 (二)地史的事實ヲ記述セル普通文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一)ボンベ一市ノ現況 (二)羅馬時代ノ文明一斑 (三)火山爆裂ノ結果 (四)古蹟研究ノ必要趣味</p> <p><b>應用</b> 左ノ文字ヲ比較セシムベシ (一)劇場ト演戲場 (二)乃至トあるひは、もしくは (三)今ト今や 書取</p> <p>(一)堺は街衢端正なり (二)道頓堀には大なる劇場多し</p> <p><b>教具</b> 伊太利國ノ地圖 羅馬版圖全圖</p> <p><b>注意</b> (一)地理ト連絡シテ其ノ模様竝ニ火山ノ性質ヲ話スベシ (二)ボンベ一市ノ開掘セラレタル部</p>	<p>一、讀本卷七第十二課電氣ノ應用ノ練習文ヲ口語ニ譯セシムベシ 二、原文ノ意ヲ失ハザルヨ 一注意スベシ</p>	<p>高等國語科教授細目</p> <p>一一七</p>
--	--	-----------------------------

<p>分ハ能ク歴覽シ得ルコトヲ話スベシ</p> <p>(三) 羅馬時代ノ有形無形ノ文明一斑ヲ説明スベシ</p> <p>(四) 我國盤梯山ノ破裂ト比較説明セシコトヲ要ス</p> <p>(五) 地下ノ大阪市ヲ附説スベシ</p>	<p>一八、題目 火山</p> <p>二時間</p> <p>(注) 一、地理科ニテ授ケシ智識ヲ基本トシテ火山ノ性質噴火ノ有様破裂ノ慘狀等ヲ記述セシモノトス</p> <p>二、破裂ニ關シテハベスピヤス山盤梯山等ヲ例示スベシ</p>	<p>一二、材料</p> <p>二時間</p> <p>發起募集立會署名捺印保管契約委任贈與貸借損益賠償</p> <p>(注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシム</p>
<p>一二三、題目 リビンクストン</p> <p>スタンレー</p> <p>十一時間</p> <p>要項</p> <p>形式 (一) 傳教師、探險家、救援者、蠻地、消息、遣はす、日子、殖民地、いはん方なし、斑馬、麒麟、滞在、鱷魚、ゆくて、愉快、夾む、棕櫚、超ゆ、挨拶、憔悴、託す、天涯萬里、湛ふ顯著ノ讀解</p> <p>(二) 固有名詞ト普通名詞トノ説明</p>	<p>一八、題目 火山</p> <p>二時間</p> <p>(注) 一、地理科ニテ授ケシ智識ヲ基本トシテ火山ノ性質噴火ノ有様破裂ノ慘狀等ヲ記述セシモノトス</p> <p>二、破裂ニ關シテハベスピヤス山盤梯山等ヲ例示スベシ</p>	<p>一二、材料</p> <p>二時間</p> <p>發起募集立會署名捺印保管契約委任贈與貸借損益賠償</p> <p>(注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシム</p>

<p>(三) 地理探險ノ記事文ヲ示スニアリ</p> <p>實質 (一) リビンクストンノ探險及ビ功績</p> <p>(二) スタンレーノ探險及ビ功績</p> <p>(三) アフリカ内地ノ地理竝ニ生存セル動植物</p> <p>(四) 地理探險ノ艱難ヲ示シテ敢爲忍耐ノ心ヲ養フニアリ</p> <p>應用 左ノ語ヲ比較説明セシムベシ</p> <p>(一) 救援者ト救護者</p> <p>(二) 選ぶト撰べ</p> <p>(三) 河畔ト河岸</p> <p>(四) 通過ト經過</p> <p>左ノ語句ノ主格ヲ轉倒セシムベシ</p> <p>(一) スタンレー!は鱷魚に襲はれたり</p> <p>(二) アラビア人一同はスタンレーを訪問せり</p> <p>(三) 村人は探險者の一行を取り巻く書取</p>	<p>三、文語體トス</p>	<p>ベシ</p> <p>二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ</p> <p>集、任、與</p>
---	----------------	---



- (一) 蠻地の消息は久しく絶たたり
- (二) 博士は白髪にしていと憔悴せり
- (三) 天涯萬里の異域にあそぶ

教具 亞弗利加ノ地圖 (本課中ノ地名ヲ記入セルモノ)

注意 (一) 地理ト連絡シテ亞弗利加内地ノ氣候生物土人等ヲ説明スベシ

- (二) 本課二人ノ探險事業ノ苦辛ヲ福島少將ノ單騎旅行ト比較シテ話スベシ
- (三) 二人ノ亞弗利加探險ノ目的ヲ附說センコトヲ要ス

- (四) 練習文ハ本文ヲ讀ミテ感ゼシコトヲ記シタルモノナルコトヲ教フベシ

一四、題目 臺灣

六時間

要項

一九、題目 遠方にある人におくる

二時間

(注)

- 一、開墾探險或ハ商業公務等ノ爲メニ遠方ニアル父伯叔父或ハ知人ニオクルモノトス
- 二、當地ノ近況ヲ申シ延ベ且ツ先方ノコトヲ思ヒヤルモノトス
- 三、文語體トス

二三、材料

二時間

製品吟味正  
直律義商賣  
繁昌條約改  
正貿易擴張  
百貨輻湊

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ
- 二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ  
正、直、義、

形式

- (一) 中央、山脈、煉瓦、櫛比、樟腦、土蕃、棲息ノ讀解
- (二) 地理的記事文ノ範ヲ示スニアリ

實質

- (一) 臺灣ノ位置地形面積
- (二) 臺灣ノ地勢氣候
- (三) 臺灣ノ人事物産
- (四) 臺灣ノ沿革
- (五) 地理的知識ヲ與フルニアリ

應用 填字法

- (一) 臺北ニ近キ處ニ□□□□ノ二港アリ
  - (二) 臺南ニ近キ□□港モ□□開港場ナリ
- 書取
- (一) 本島ハモト土蕃ノ棲息セシトコロナリ
  - (二) 日清戰役ノ結果ニヨリテワガ國ノ版圖ニ歸セリ

教具 亞細亞洲圖 日本地圖 臺灣地圖

二〇、題目 郵便ト

二時間

電信

- (注) 一、往古書面往復ノ不便ナリシコトヲ述ベ郵便電信ノ功用ニ及ブベシ
- 二、郵便電信規則ノ一班ヲ附記セシムベシ
- 三、口語體トス

一四、材料

二時間

前回ニ下清書セシ分

- (注) 一、前回ノ下清書ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

<p><b>注意</b>(一) 地理下連絡シテ本島ノ地理的知識ヲ與フベシ</p> <p>(二) 土蕃風習ノ奇談一二ヲ話スベシ</p> <p>(三) 北白川宮殿下ノ御事蹟ヲ附説スベシ</p> <p>(四) 臺灣ニ於ケル軍備行政等ノ大略ヲ附説センコトヲ要ス</p>	<p><b>一五、題目 死亡通知の廣告</b> 一時間</p> <p>(注) 一、新聞紙ニ掲載スベキ家族若クハ親戚ノ死亡通知ノ廣告文トス</p> <p>二、死亡日時出棺ノ場所日</p>	<p><b>一五、材料</b> 二時間</p> <p>貴社發行の幼年雜誌購讀いたしたきゆゑ今月</p>
<p><b>一五</b></p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b>(一) 復讐、必定、臆病、ふるふる、刺し殺す、掠む、償ふノ讀解</p> <p>(二) 必定、うつかり等ノ副詞</p> <p>(三) しかし、どころが等ノ接續詞</p> <p>(四) 口語ノ傳記文ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b>(一) 彌兵衛ノ幼時並ニ航海ノ經驗</p> <p>(二) 彌兵衛ノ義氣</p> <p>(三) 彌兵衛ノ勇氣、蘭人ヲ懲ラス</p>	<p><b>二一、題目 送葬謝禮廣告</b> 一時間</p> <p>(注) 一、前文ニ連絡シテ會葬者一般ニ謝禮スル廣告文トス</p> <p>二、新聞紙上ノ謝禮ハ略儀ナルコトヲ短ラシムベシ</p> <p>三、文語體トス</p>	<p>より毎號御送り下さるべく候</p>

<p><b>應用</b> 左ノ文ニツイテ副詞接續詞ヲ示セ嚴重に取り調べたしかし何もなかつたのですこし安心した</p> <p>書取</p> <p>(一) 臆病ものによりにふるふるふるって居た</p> <p>(二) 初めに掠めた品物を償はせた</p> <p><b>教具</b> 臺灣ノ圖</p> <p><b>注意</b>(一) 前課ト連絡スベシ</p> <p>(二) 當時ノ蘭人ノ勢力ヲ話スベシ</p>	<p>時墓所等ヲ記述セシムベシ</p> <p>三、ハ文體トス</p> <p><b>二二、題目 送葬謝禮廣告</b> 一時間</p> <p>(注) 一、前文ニ連絡シテ會葬者一般ニ謝禮スル廣告文トス</p> <p>二、新聞紙上ノ謝禮ハ略儀ナルコトヲ短ラシムベシ</p> <p>三、文語體トス</p>	<p><b>一六、題目 蜜柑船</b> 六時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b>(一) あぐみはつ、こまぬく、腐、白装束、準備、潮風、灘、岬、儲くノ讀解</p> <p>(二) 助動詞ノ説明</p>
<p><b>一六</b></p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b>(一) あぐみはつ、こまぬく、腐、白装束、準備、潮風、灘、岬、儲くノ讀解</p> <p>(二) 助動詞ノ説明</p>	<p><b>二三、題目 臺灣ノ沿革</b> 二時間</p> <p>(注) 一、讀本卷七第十六課臺灣ノ第六節以下ヲ参照シテ記述セシムルモノトス</p>	<p><b>一六、材料</b> 二時間</p> <p>二三日前より早稲田にうんか發生したるゆゑ</p>

<p>一七</p>	<p><b>實質</b>          (一) 熊野ノ暴風雨          (二) 紀文出帆ノ準備決心          (三) 渡海中ノ有様          (四) 品川着及ビ儲ケ          (五) 機敏勤勉等ノ諸徳ヲ養フニア          リ</p> <p><b>應用書取</b>          (一) 蜜柑が腐る          (二) 船を幽霊丸と名づけたり          (三) 遠州灘を越へ觀音岬に至る          本課中ノ助動詞二三ヲアゲヨ          本課中ノ助動詞二三ヲアゲヨ</p> <p><b>教具</b> 日本本土之圖  <b>注意</b> (一) 本課ハ熟讀朗誦セシムベシ          (二) 少年文學中ノ紀文大盡ヲ參考シテ紀ノ國や文左衛門ノ幼時ヲ話スベシ          (三) 古今航海ノ難易便不便ヲ知ラシメンコトヲ要ス          (四) 沖のくらしいのにノ俗語ヲ附説ス</p>	<p>二、我が版圖ニ歸セシ以來ノ模様ヲ附記セシムベシ          三、語口體トス</p>	<p>よき驅除法もあらば御示し下されたく候</p> <p>(注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ          二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ          稻、驅</p>
<p>一七</p>	<p><b>二四、題目 汽船の發着期日を問ひ合す</b> 一時間          (注) 一、四國九州臺灣等ヲ往復セル汽船トス          二、大阪川口ヨリ發スルモノトス</p> <p><b>一七、材料</b> 二時間          前回ニ下清書セシ分</p> <p>(注) 一、前回ノ下清書ト文字ノ位置ヲ同ジ</p>	<p>二、到着港ヲ定メオクベシ          三、口語體トス</p>	<p>クシテ練習シ清書セシムベシ</p>

<p>一八</p>	<p><b>一七、題目 商品を注文す</b> 三時間</p> <p><b>要項</b>  <b>形式</b> (一) 評判、市場、一切、勿々ノ讀解          (二) 商用往復文ノ範ヲ示スニアリ  <b>實質</b> (一) 九谷焼ヲ注文スルコト          (二) 右ノ注文ニ應ズルコト          (三) 商業ノ取引ニ信用ノ必要ナルコト</p> <p><b>應用書取</b>          (一) 九谷陶器店          (二) 本月末日までに着荷ノ豫定なり          (三) 當製造所ノ名譽なり</p> <p><b>注意</b> (一) 地理ト連絡シテ九谷焼ノ品質大要ヲ話スベシ          (二) 信用ノ必要ナル所以ヲヨクノ</p>	<p><b>二五、題目 同返事</b> 一時間          (注) 一、往文ニ準ズベシ</p>	<p>一八、材料 二時間          讀本ノ第九課商品ヲ注文す</p>
<p>一八</p>	<p><b>二六、題目 水道ノ功用</b> 二時間          (注) 一、大阪市ノ水道敷設以前ト以後トヲ比較シテ水道</p>	<p>ノトス          三、到着港ヲ定メオクベシ          四、口語體トス</p>	<p>クシテ練習シ清書セシムベシ</p>

知ラシムベシ

### 一八、題目 わが國の貿易

六時間

#### 要項

#### 形式

(一) 巨額、比較、長足の進歩、對照、糊、菓子、遺憾、超過、すべからくノ讀解

(二) 商用語ヲ用ヒタル記事文ノ範ヲ示スニアリ

#### 實質

(一) 貿易業ノ進歩

(二) 主要ナル輸出入品

(三) 輸出入品ノ需用對照

(四) 貿易港ノ情況

(五) 我が國貿易上ノ缺點

(六) 貿易業振起ノ必要ヲ知ラシムルニアリ

#### 應用設問

ノ功用ヲ記述セシムルモノトス

二、主トシテ衛生上ノ功用ヲ擧グベシ

三、水道使用ノ心得ヲ附記セシムベシ

四、文語體トス

(注)

一、半紙モシクハ半

切ヲ横ニシテ練習セシムベシ

二、細字練習ヲ目的トス

### 一九

(一) 固有名詞五ト普通名詞五トヲ示セ

(二) 本課中ノ反語ヲ記ルセ書取

(三) 輸出入額を比較對照すべし

(四) 外國にては糊菓子等を製するにわが國の米を要す

**教具** 日本地圖 世界地圖  
**注意** (一) 地理科ト連絡シテ明確ナル知識ヲ與ヘザルベカラズ

(二) 本課ノ事實ハ統計年鑑等ニヨリテ時々訂正シテ教フベシ

(三) 粗製品精製品ニツキテハ例ヲ示シテ解釋センコトヲ要ス

(四) 航海事業ノ發達實業ノ勃興ト相待チテ貿易業ノ擴張ヲ圖ルベキヲ附説スベシ

### 二七、題目 商品の有無を問ひ合す

一時間

(注)

一、商品製造業者ニ向ツテワガ商店ニテ賣捌カントスル商品ノ有無ヲ照回スルモノトス

二、ハ文體トス

### 二八、題目 同返事

一時間

(注)

一、兒童ヲ商品製造業者ニ擬シテ商品ハ目下品切レナレド四五日ノ中ニ出來スベキ旨ヲ返書スルモノトス  
二、其ノ他ハ往文ニ準ズベ

### 一九、材料

二時間

恭敬ヲ盡シテ交レバ四海ノ中皆兄弟ナリ

(注)

一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ

一九、題目 長江航路 五時間

要項

形式

(一) 有數、沃野、定期航行、概況、漫々、蘆荻、驢馬、江勢、黄昏、宏壯、墻壁、懷古の情、未明、槍砲局、さながら、うたた、海里、鐵軌ノ讀解

(二) 動詞、助動詞ノ例解

(三) 地理的記事文ノ範ヲ示スニアリ

實質

(一) 長江ノ流域

(二) 長江沿岸ノ開港場

(三) 長江沿岸ノ模様

(四) 航行ヲ好ム心ヲ養フニアリ

應用 設問

(一) 本課中ノ副詞ヲ摘記セヨ

(二) 鎮江府、南京、漢口等ノ人口ハ我が國ノ某都市ノ人口ト相等シキカ書取

(三) 濁流漫々として蘆荻は江畔に茂

二一〇

二一〇、題目 民法と商法 三時間

要項

形式

(一) 婚姻、相続、物權、債權、當事者請求、強行、意外ナル損失ノ讀解

(二) 法律用語ヲ用ヒタル解説文ヲ示スニアリ

實質

(一) 民法ノ大要

(二) 民法研究ノ必要

(三) 商法ノ大意

れり

(一) 四面は堅固なる墻壁にて圍めり

(二) うたた懷古の情に堪へず

教具 東洋地圖 長江附近ノ地圖

注意

(一) 地理科ト連絡ヲ保タシムベシ

(二) 大運河ノ沿革大略ヲ話スベシ

(三) 大阪商船會社ノコトヲ附説スベシ

二一九、題目 我が國 貿易上の缺點 二時間

(注)

一、讀本卷七第二十課我が國の貿易ノ末節ヲ敷衍セ

シムルモノトス

二、一々例ヲ擧ゲテ記述セ

シムベシ

三、口語體トス

二二〇、材料

前回ノ分 二時間

(注)

一、前回ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

	<p>(四) 商法研究ノ必要</p> <p>(五) 法律思想ヲ養フニアリ</p> <p><b>應用</b> 左ノ文語ヲ口語ニ改メシムベシ</p> <p>(一) 大體ニ通ゼザルベカラズ</p> <p>(二) 意外ナル損失ヲ招クコトアルベシ</p> <p>書取</p> <p>(一) 物權債權相續等ノコトハ民法ニ規定セラル</p> <p>(二) 當事者ノ請求アルヲ待チテ處分ス</p> <p><b>注意</b> (一) 修身ト連絡ヲ保タシムベシ</p> <p>(二) 民法講義商法講義等ニヨリテ民法商法ノ大意ヲ説明センコトヲ要ス</p> <p>(三) 法律ト道德トノ關係ニツキテハ最モ注意シテ授クベシ</p> <p>(四) 本課ニ於テ話シ方ヲ練習スベシ</p>

練習

	<p>二二二、題目 憲法發布 五時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 優渥、欣榮、此ノ、惟フニ、輔翼肇造、茲ニ、殆フ、殆ス、其ノ、獎順、和衷、鞏固、そもそも、萬世不磨ノ大典、權利義務、樞密顧問、遵奉、御通輦、千載一遇、洋々ノ讀解</p> <p>(二) 嚴肅ナル記事文ヲ示シ勅語ニ關スル用語ヲ知ラシムルニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 憲法發布式當日ノ盛事</p> <p>(二) 當日下シ賜ハリシ大詔</p> <p>(三) 憲法ノ大意</p> <p>(四) 誠忠ノ念ト遵法ノ心ヲ養フニ</p>
<p>三〇、題目 民法研 二時間</p> <p><b>究會を催す</b></p> <p>(注) 一、處世上民法ノ必要ナル所以ヲ述べ研究會ヲ開カシコトヲ友人ニ相談スルモノトス</p> <p>二、場處開會定日等ヲモ附記セシムベシ</p> <p>三、文語體トス</p>	<p>二二一、材料 二時間</p> <p><b>智者ハ惑ハズ 勇者ハ懼レズ</b></p> <p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ</p> <p>二、左ノ文字ノ書キ方順序ヲ示スベシ</p> <p>或、勇、懼、</p>

應用設問

- アリ
- (一) 紀元節トハ如何ナル日カ
- (二) 憲法ニ對スルワレワレノ心得書取
- (三) 憲法は臣民の永遠に遵奉すべきものなり
- (四) 聖壽の萬歳を祝し奉る

教具 皇室典範(正文) 帝國憲法(正文)

- 注意 (一) 教育ニ關スル 勅語中ノ國憲ヲ重ンジ云々ト連絡スベシ
- (二) 本課殊ニ 勅語奉讀ノ際ハ慎肅ノ態度ヲ取リ口調ヲ用ヒシメザルベカラズ
- (三) 一ニ外國ノ政體大意竝ニ憲法發布ノ由來等ヲワガ國ト比較説明セシコトヲ要ス
- (四) 勅語ハ其ノ記載ノ形式ヲ異ニセシコトヲ話スベシ

二二三、題目 政治組織 八時間

要項

形式

- (一) 總括、責任、複雑、遞信省、分擔軸、萬機ヲ總攬ス、公布、訴訟、大審院ノ讀解
- (二) 政治上ノ解説文ヲ示シ且ツ話シ方ヲ練習スルニアリ

實質

- (一) 地方ノ自治及ビ行政組織
- (二) 中央政府ノ組織及ビ權利
- (三) 立法部
- (四) 行政部
- (五) 司法部
- (六) 國政ニ關スル心得ヲ知ラシムルニアリ

應用

- 左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ
- (一) 國ノ政治ヲ行ハネハナラヌ
- (二) 政府ノ責任ハ重イモノデアアル
- (三) 宮内省ハ一般ノ政治ニハ全ク關係シナイ

三三一、題目 商業研究會へ加入を申込む

一時間

(注) 一、以文體トス

三三二、題目 地方自治

二時間

(注)

- 一、讀本卷八第二課政治組織ノ第一二三四節ヲ參照シテ綴ラシムルモノトス
- 二、地方ノ模様ヲ舉ゲテ例

二二三、材料

二時間

前回ノ分

(注)

- 一、前回ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

設問

- (一) 養生ト衛生トノ別
- (二) 勸業ト實業トノ別
- (三) 分擔ト負擔トノ別

書取

- (一) 政治ノ機關ハ複雑ナモノデアアル
- (二) 天皇陛下ハ萬機ヲ總攬シ給フ

注意

- (一) 前課ト連絡シテ國政ノ一般ヲ知ラシムベシ
- (二) 歴史ト連絡シテ古來政治上ノ變遷ヲ附説スベシ
- (三) 地方ノ自治制等ハソノ地方ソノ地方ヲ以テ例解スベシ
- (四) 練習文ハ本文ノ末三節ノ譯文タルコトヲ授クベシ
- (五) 自治制ヲ説クニハ能ク自治ノ行政ト國ノ行政トノ區分ヲ明カニスベシ
- (六) 政黨ノコトヲ附説スベシ

解セシムベシ

三、口語體トス

三三三、題目 立法行

政司法ノコト

一時間

誠は天地の公道人倫の常經なり

二時間

(注) 一、讀本卷八第三課政治組織ノ練習文ヲ口語ニ譯セシムルモノトス

二、原文ノ意ヲ失ハザルヨ一注意スベシ

(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ

二、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ

誠、道、

二二三、題目 徳川時代の文學

六時間

要項

形式

- (一) 衰微、前代未聞、呈す、首唱者、創業、律令儀式、聖堂、名儒、雄、精究、研修、開弘、輩出、依託、繼々、註釋、解説、精緻、翻譯ノ讀解
- (二) 文學史上ノ記事文ノ模範ヲ示スニアリ

實質

- (一) 徳川時代ノ漢學者
- (二) 徳川時代ノ國學者
- (三) 徳川時代ノ蘭學者
- (四) 徳川時代ノ文學ノ盛況ヲ知ラシメ學者ノ偉勳ヲ慕ハシムルニアリ

應用設問

- (一) 本課中ノ助動詞五ヲ記ルセ
- (二) 固有名詞五ヲ示セ
- (三) 精究ト研修ト開弘トノ別



<p>二四</p> <p>(四) 著述ト註釋ト解説ト翻譯トノ別填字法</p> <p>(一) 宣長は國學□□の祖と□□せらる</p> <p>(二) 平田篤胤は□□家の學を繼ぎたり</p> <p>教具 大日本史 萬葉集 各學者ノ肖像 學派ノ系統圖</p> <p>注意 (一) 歴史ト連絡シテ本課ヲ授クベシ</p> <p>(二) 本課ニハ道德上ノ人物多ケレバ修身科ト連絡スベシ</p> <p>(三) 當時蘭學者ノミニテ英語學者ノナカリシ理由ヲ話スベシ</p> <p>(四) 僧契沖ハ當市ニ關係多ケレハ特ニ注意センコトヲ要ス</p> <p>(五) 懷德書院ノコトヲ述ベテ當時大阪ニ於ケル文學ノ有様ヲ附説スベシ</p>	<p>三四、題目 新聞社</p> <p>へ取消し又は正誤を頼む 一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、己レノ名譽ニ關係スル記事アリシニツキ全文ノ取消シ又ハ正誤ヲ申込ムモノトス</p> <p>二、ハ文體トス</p>
<p>二四、材料</p> <p>二時間</p> <p>滿は損を招き謙は益を受く</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシメ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ</p>	<p>三五、題目 新聞紙の切ぬきをおくる 一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、友人ノ身上ニ關スル記事ノアリシヲ切ヌキテ送ルモノトス</p> <p>二、ハ文體トス</p>

<p>二四、題目 賴山陽 六時間</p> <p>要項</p> <p>形式 (一) 軍記、城廓軍營、塾、措く、瘦す 眼光炯々、威風、慨く、嗜む、おもねる、略血、假睡、瞑すノ讀解</p> <p>(二) 傳記文ノ模範ヲ示スニアリ</p> <p>實質 (一) 山陽ノ幼時</p> <p>(二) 山陽ノ研學</p> <p>(三) 山陽ノ至孝</p> <p>(四) 山陽ノ堅志竝ニ著書</p> <p>(五) 兒童ヲシテ奮發心ヲ起サシメントスルニアリ</p> <p>應用設問</p> <p>(一) すでにトまさにとノ別竝ニ其ノ用法</p> <p>(二) 本課中ノ形容詞三ツヲアゲヨ書取</p> <p>(一) 悲歎措くこと能はず</p> <p>(二) 略血せしゆる醫師の診察を受け</p>	<p>二、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ</p> <p>滿、謙、</p>
--	------------------------------------

二五

教具 日本地圖 莊子 日本外史 日本政

注意

- (一) 前課ト連絡スベシ
- (二) 山陽ノ父ハ有名ナル學者頼春水ナルコトヲ告グベシ
- (三) 山陽ガ贈位ノ榮ヲウケシコトヲ附説スベシ

二五、題目 維新の三傑 六時間

要項

形式

(一) ひたすら、輔成、畫策、征伐、凶及、膽力、恭順、赦ス、藩籍、還シ奉ル、建議、哀悼ノ讀解

實質

- (一) 大久保利通ノ功績
- (二) 西郷隆盛ノ功績
- (三) 木戸孝允ノ功績

三六、題目 僧契沖 二時間

(注)

- 一、讀本卷八第四課徳川時代ノ文學ノ第六節ヲ敷衍附説スルモノトス
- 二、餌差町圓珠庵ハ契沖ノ住ヒシ處ナルコトヲ舉グベシ
- 三、口語體トス

二五、材料 二時間

前回ニ下清セシ分

- (注) 一、前回ノ下清書ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

二六

應用書取

- (四) 三士ノ維新ノ際ニ於ケル功績ヲ述ベテ其ノ徳ヲ慕ハシムルニアリ

- (一) 利通ハソノ性沈着ニシテ決斷ニ富メリ

- (二) 隆盛ハ參議兼陸軍大將タリ

- (三) 孝允薨ズルヤ 天皇深ク哀悼シ給フ

教具 三傑ノ肖像

注意

- (一) 前課ノ末節ト連絡シテ維新ノ有様ヲ略説スベシ
- (二) 臺灣征伐ノ原因モ附説スベシ
- (三) 本課ノ事績ハ歴史ト連絡ヲ保タシムベシ

二六、題目 望遠鏡の發明 六時間

三七、題目 普請中 休業の廣告 一時間

- 一、普請地竝ニ休業期限等ヲ新聞紙ニ廣告スルモノトス
- 二、文語體トス

二六、材料 二時間

政治文學人情風俗言語習慣總裁社長頭取

- (注) 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ

要項

形式

- (一) 凸鏡凹鏡、琢く、伸ばす、屹立、奇妙、合點ノ讀解
- (二) 記事文ノ範ヲ示シ話シ方ヲ練習スルニアリ

實質

- (一) 望遠鏡發明ノ次第
- (二) 望遠鏡ノ構造
- (三) 望遠鏡ノ功用
- (四) 發明ノ功益アルコトヲ知ラシムルニアリ

應用

- 左ノ文中ノ助動詞ヲ舉グベシ
- (一) 程よく組み合せてつくる
- (二) 家の内から塔を望んで居た書取

教具

- 凹鏡 凸鏡 望遠鏡 雙眼鏡等
- (一) 理科ト連絡シテ望遠鏡ノ構造ヲ充分ニ知ラシムベシ

(二) 本課ニ於テ十分言語ヲ練習スベシ

三八、題目 業務の擴張を披露す

一時間

(注)

- 一、前文ト連絡シテ得意先へ業務ヲ擴張セシコトヲ披露スルモノトス
- 二、以文體トス

二、左ノ文字ノ書き方ヲ示スベシ

政、學、風、總、裁、

二七、題目 わなかの夕暮

四時間

要項

形式

(一) 高嶺、鎮守、うぶすな神、椎、をぐらきかげ、せど、爐、障子、陸ノ讀解

- (二) ああ、おお等ノ感歎詞ノコト
- (三) 平易ナル韻文ヲ示スニアリ

實質

- (一) わなかの夕暮の有様
- (二) 農夫ノ情態
- (三) 親子夫妻ノ和樂
- (四) 主トシテ家族的快樂ヲ知ラシ

三九、題目 双眼鏡

二時間

(注)

- 一、讀本卷八第七課ノ練習文後節ヲ敷衍セシムルモノトス
- 二、雙眼ノ形狀組立功用等ヲ詳細ニ記述セシムベシ
- 三、文語體トス

二七、材料

二時間

取締支配監 査威重親愛 從順機敏果 斷沈毅

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシメ後前回ノ分ト共ニ下清書モシムベシ
  - 二、左ノ文字ノ書き方ヲ示スベシ
- 威、重、機、果、

<p>ムルニアリ</p> <p><b>應用</b> 左ノ韻語ヲ普通語ニ改メシムベシ</p> <p>(一) かくてたち入る三人が そろひてすわる爐のほどり</p> <p>(二) 馬ひきつれかへりくる 二人の農夫は親と子と</p> <p>書取</p> <p>(一) 遠き高嶺に月いでぬ</p> <p>(二) 睦まじき親子</p> <p><b>注意</b> (一) 本課ハ能ク朗誦セシメテ其ノ意義ニ通達セムベシ</p> <p>(二) 市中ノ夕暮ノ模様ト比較シテ本課ヲ想起サシムベシ</p> <p>(三) 家族ノ和樂ニツキテハ修身科ト連絡シテ授クベシ</p>	<p>二二八、題目 歐洲への航路</p> <p>五時間</p>

<p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 嘆、慘憺、信風、晴朗、要衝、甲板、茫茫、屋氣樓、幻影、海里、島嶼、海峽、時つ、廻るノ讀解</p> <p>(二) 航海日記ノ範ヲ示スニアリ</p> <p><b>實質</b> (一) 大日本郵船會社ノコト</p> <p>(二) 同會社ノ歐洲航路</p> <p>(三) 航路附近ノ狀況</p> <p>(四) 海事思想ヲ養フニアリ</p>	<p><b>應用書取</b></p> <p>(一) アデン港は東西往來の要衝たり</p> <p>(二) 屋氣樓は幻影に外ならざるなり</p> <p>設問</p> <p>(一) 貿易風ノ起ル理ヲ問フ</p> <p>(二) 屋氣樓ノ現ハル、理如何</p> <p>(三) ぼんぼんとあたかもトノ別</p> <p>(四) なほトますトノ別</p>	<p>四〇、題目 取引先 二二八、材料</p> <p>の信用を問ひあはす 一時間</p> <p>(注) 一、以前ヨリノ取引先又ハ知人ニ今度初メテ取引セントスル者ノ身元信用如何ヲ問ヒ合スモノトス</p> <p>二、口語體トス</p> <p>二時間</p> <p>前回ニ下清書セシ分</p> <p>(注) 一、前回ノ下清書ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ</p>
<p><b>教具</b> 世界全圖 大汽船ノ圖 香港 新嘉坡 マルセイユ等ノ寫眞</p> <p><b>注意</b> (一) 地理科ト連絡シ其ノ地名航路等</p>	<p>四一、題目 同返事 一時間</p> <p>(注) 一、前文ニ準スルモノトス</p>	

- ヲ明カニ示スベシ
- (二) 貿易風屨氣樓ニ付テハ理科ト連絡シテ其ノ起ル理由ヲ簡單ニ話スベシ
- (三) 郵船會社ノ航路擴張竝ニ其ノ國益トナリシコトヲ述ブベシ
- (四) 地中海ト瀬戸内海トノ類似點ハ兒童ヲシテ發見説明セシムベシ

二一九、題目 ピラミッド 四時間

要項

**形式**(一) 墳墓、花崗石、基、掩フ、坪、サヘ、土工、墓標、柩、安置、ミイラ包被ノ讀解

**實質**(一) 記事文ノ範ヲ示スニアリ  
(二) ピラミッドノ位置形狀大サ  
(三) 研究心ヲ起サシムルニアリ

二一九

應用 設問

- (一) オホヨソトオヨソトノ別
  - (二) 重量ト容量トノ別
  - 左ノ文語ヲ口語ニ改メシムベシ
  - (一) イカニ進歩シタリシカヲ知ルニ足ル
  - (二) 風ニ吹カル、恐レアルガ故ナラシ
- 教具** ピラミッド及ビ万里ノ長城ノ寫真圖
- 注意** (一) 地理科ト連絡シテ其ノ位置ヲ明示スベシ
- (二) 挿畫ノ駱駝椰子樹等モ大要説明スベシ
  - (三) 万里ノ長城ヲ附説スベシ
  - (四) 埃及ガ往昔文明國ニシテ大工事ヲナセシコトヲ附説スベシ

三〇、題目 英國ノ商工業

四時間

四二、題目 瀬戸内海航行ノ案内 二時間

- (注) 一、瀬戸内海ヲ一巡スル豫定案ヲ記述セシムルモノトス
- 二、形式ハ讀本第九課歐洲ヘノ航路ニ準スベシ
- 三、文語體トス

二一九、材料

二時間  
内閣宮内  
務外務大藏  
陸軍海軍司  
法文部

- (注) 一、讀本ノ政治組織ノ課ト連絡シテ授クベシ
- 二、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ
- 三、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ  
閣、藏、部、

	<p><b>要項</b> 形式 (一) 曹達、硫酸、澤山、組織、規模、堅忍不拔ノ讀解</p> <p><b>實質</b> (一) 英國ノ工業 (二) 英國ノ商業 (三) 英國商工業ノ盛ンニナリシ原由 (四) 商工業ノ國家ニ及ボス影響大</p> <p><b>應用書取</b> (一) 英國の商工業は世界で第一と呼ばれて居る (二) 英國人は堅忍不拔の精神に富んで居る 左ノ口語ヲ文語ニ改メシムベシ (二) 人數が澤山で一々調べきれないほどである (三) 今では世界第一の國と呼ばれるよーになつた</p>		
--	---	--	--

	<p><b>教具</b> 世界地圖</p> <p><b>注意</b> (一) 地理科ト連絡シテ日英地勢ノ相似タルヲ知ラシムベシ (二) 本課中ノ英國產物ニテ我が國ニアルモノトナキモノトヲ示シ且ツ兩國間ノ輸出入品ヲ教フベシ (三) 英國ノ交通機關及ビ其ノ商工業トノ關係ヲ説クベシ (四) 大阪市ハ商工業ノ中心トモイハルル土地ナレバ本課ノ教授ニハ大ニ力ヲ用キザルベカラズ</p>		
--	---	--	--

<p>三〇三二、題目 倫敦市の狀況を知らす</p> <p>要項 形式 (一) 哩、漆喰、こゝるたゝる、動搖、平坦、砥、間隙、寂として、欺くノ讀解</p>	<p>三時間</p>	<p>四三、題目 英國ノ六大物産</p> <p>(注) 一、讀本卷八第十一課英國の商工業ヲ參照シテ綴ラシムルモノトス</p>	<p>二時間</p> <p>農商務遞信省大審院控訴院裁判所警察署</p>
--	------------	--	--------------------------------------

實質

- (一) ヤヤ多クノ思想ヲ發表セル報知文ノ範ヲ示スニアリ
- (二) 倫敦古市ノ繁華
- (三) 倫敦古市ノ道路ノ完備市街ノ雜沓
- (四) 倫敦古市ノ晝ト夜ト
- (五) 倫敦市ノ狀況ヲ知ラシムルニアリ

應用書取

- (一) 道路平坦にして車體の動搖することなし
- (二) 如何に賑はしき市街も夜間は寂として人聲なし
- (三) 左ノ文章ノ主語ノ位置ヲ轉ゼシムベシ
- (四) 倫敦古市は市の中央部にあり市區なり
- (五) 市街の四つ辻にて巡査は見張りをなす

教具 倫敦市ノ圖

二、英國六大物産（綿布毛布麻布機械石炭鐵）ノ國ヲ富マスコトヲ記述スベシ

三、口語體トス

(注) 一、讀本ノ政治組織ト連絡シテ授クベシ

二、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシメ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ

三、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ

農、遞、警、

三三二 題目 吉田松陰の母

五時間

要項

形式

(一) 祿、穢れたる物、かひがひし、騷擾、忌む、愁傷、辱うす、天恩に浴す、一期ノ讀解

實質

- (一) 傳記文ノ模範ヲ示スニアリ
- (二) 妻トシテノ瀧子
- (三) 婦トシテノ瀧子
- (四) 母トシテノ瀧子
- (五) 瀧子ノ名譽

注意

- (一) 前課ト連絡シテ大都市ト商工業ノ發達トノ關係ヲ知ラシムベシ
- (二) 大阪市ト比較對照シテ話サンコトヲ要ス
- (三) 黄金一升土一升ノ諺ヲ以テ地價ノ高キヲ説明スベシ

三二	<p><b>應用設問</b></p> <p>(五) 女子ノ本務ヲ知ラシムルニア リ</p> <p>(一) つつとながらトノ用法ノ問フ</p> <p>(二) 貧しければト貧しかりければト ノ別</p> <p>(三) 松下村塾を開きし松陰の母ト女 徳の高かりし松陰の母トノ二文章 ノ構成法ヲ比較辨明セヨ</p> <p>書取</p> <p>(一) 徳川幕府の政衰へて海内騷擾せ り</p> <p>(二) 長くも寫眞の御覽を辱うす</p> <p><b>教具</b> 日本地圖 瀧子ノ肖像</p> <p><b>注意</b> (一) 修身科ト連絡シテ女子ノ本分ヲ 説明スベシ</p> <p>(二) 歴史科ト連絡シテ當時ノ形勢ヲ 話シ大義名分ヲ明カナラシムベシ</p> <p>(三) 本課ヲ女子ニ課スルニハヤヤ敷 衍センコトヲ要シ男子ニ課スルニ</p>	
三三	<p><b>四四、題目 大阪市 三二、材料</b></p> <p>の商況を知らす</p> <p>一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、當市ニ於ケル商品取引 ノ模様商品運搬ノ模様其 ノ他銀行會社等ノコトヲ 他ノ地方ニアル者ニ知ラ スモノトス</p> <p>二、紡績機寸其ノ他製造業 ノ模様等ニ附記セシムベ シ</p>	
三四	<p>前回ニ下清 書セシ分</p> <p>二時間</p> <p>(注)</p> <p>一、前回ノ下清書ト 文字ノ位置ヲ同ジ クシテ練習シ清書 セシムベシ</p>	

三三	<p>ハ松陰ノ事績ヲ附説スベシ</p> <p><b>三三三、題目 母の務</b> 三時間</p> <p><b>要項</b></p> <p><b>形式</b> (一) 疾病、玩具、溺る、癖、順良、如 かず、うべなるかなノ讀解</p> <p>(二) 論説文ノ模範タラシムルニア リ</p> <p><b>實質</b> (一) 子女生レテヨリ學齡ニ達スル マデノ家庭教育</p> <p>(二) 學齡時代ノ家庭教育</p> <p>(三) 育兒ト家庭教育ハ母ノ務ナル コトヲ知ラシムルニアリ</p> <p><b>應用正誤</b></p> <p>(一) 子女生ればもつばら身體の發育 に注意すべし</p> <p>(二) その日學ぶところを復習し未熟 なるどころあらば注意を與ふべし</p>	
三四	<p>シ</p> <p>三、形式ハ讀本卷八第十二 課倫敦市の狀況を知らす ニ準ジテ文體ニ綴ラシム ベシ</p> <p><b>四五、題目 電信文</b></p> <p>三種 一時間</p> <p>(注)</p> <p>一、急病ヲ知ラストキ金ヲ オクルトキ商品ノ到着ヲ 知ラストキノ三種ノ電信 文ヲ綴ラシムベシ</p> <p>二、冗文ナキヨ一注意スベ シ</p>	
三五		



<p>設問</p> <p>(一) ややトやうやくトノ別</p> <p>(二) それどれトおのおのトノ別</p> <p>注意(一) 前課竝ニ修身科ト連絡シテ子女ノ賢愚ハ大ニ母ノ教ヘニ關スルコトヲ知ラシムベシ</p> <p>(二) 本課ヲ授クルニ兒童ヲシテワガ母ハヨクワレニ對シテ務ヲ盡セルカナド思ハシメザル様注意スベシ</p> <p>(三) 本課ニヨリテ母ノ慈愛ノ深キニ感ゼシメザルベカラズ</p> <p>(四) 父トシテモ家庭教育ノ必要ヲ心得居ラザルベカラザルコトヲ知ラシムベシ</p>	<p>三四、題目 朋友の交り 四時間</p> <p>要項</p> <p>形式(一) 僞る、いかで、契り、おどづれ</p>

<p>注意(一) 修身科ト連絡シテ朋友相信シノ意義ヲ明カニスベシ</p> <p>(二) 本課ハヨク暗誦セシムルニ至ルベシ</p> <p>注意(一) 修身科ト連絡シテ朋友相信シノ意義ヲ明カニスベシ</p> <p>(二) 本課ハヨク暗誦セシムルニ至ルベシ</p>	<p>四六、題目 わが母</p> <p>二時間</p> <p>(注) 一、讀本卷八第十四課母の務ヲ參照シテ綴ラシムベシ</p> <p>二、ワガ身ノ生レテヨリ今日マデ母ニ受ケシ慈愛ヲ具體的ニ最モ詳細ニ記述セシムルモノトス</p> <p>三、母ニ對スル務ヲ附記セシムベシ</p> <p>四 文語體トス</p>	<p>三二、材料</p> <p>二時間</p> <p>開國進取憲法發布立憲政治</p> <p>(注) 一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシムベシ</p> <p>二、讀本ノ憲法發布ト連絡シテ授クベシ</p> <p>三、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ</p> <p>憲、布、</p>
<p>實質(一) 范、張ノ二人約束ヲ結ブ</p> <p>(二) 范、張ノ二人約束ヲ守ル</p> <p>(三) 朋友ハ信義ヲ旨トスベキコト</p> <p>應用書取</p> <p>(一) 僞りいふな疑ふな</p> <p>(二) 契りたがへずおどづれぬ</p> <p>左ノ韻文ヲ口語ニ改メシムベシ</p> <p>(一) 人に信義のなかりせば</p> <p>いかで世に立つことを得ん</p> <p>(二) あはれこの世に友なくば</p> <p>いかにこの身のうからまし</p>		

- (三) 范張二人ノ例ニヨリテ人ヲ僞ハラザルモノハ人ヲ疑ハズ又人ヲ疑ハザルモノハ人ヲ僞ハラザルコトヲ知ラシムベシ
- (四) 張氏ノ母ノ言行ニツキテハ深ク注意シテ授クベシ不信ノ人ナリナド思ハシムルコトナカレ

### 三五、題目 アマゾン河の流域

三時間

#### 要項

#### 形式

(一) 露出、挺然、喬木、禽鳥、灌木、花卉、昆蟲ノ讀解

(二) 語法上ノ係結

(三) 地誌的記事文ヲ示スニアリ

#### 實質

(一) アマゾン河ノ流域ノ廣大ナルコト

(二) 流域中ノ粘土部分ノ生物

(三) 地理ト理科トノ智識ヲ與フルニアリ

#### 應用

左ノ文章ニヨリテ係結ヲ區別セヨ、

(一) 行きてこそ見ることを得るなれ

(二) 祝ふ今日こそ楽しけれ

書取

(一) 喬木は挺然として高く聳ゆ

(二) 禽鳥は灌木に囀り昆蟲は花卉に戯る

#### 教具

南亞米利加ノ地圖 棕櫚わたさるソノ他南米ニ住メル禽鳥昆蟲等ノ標本若クハ繪畫

#### 注意

(一) ヲガ國ノ大河ト比較シテソノ大流域ナルコトヲ知ラシムベシ

(二) 大河ト大低地トノ關係ヲ二三近例ヲ示シテ説明スベシ

(三) 挿畫ニツキテハさる、わに等ヲ説明セザルベカラズ

三三三六、題目 こむ液の採集

五時間

要項

形式

(一) 陰濕、瘴氣、さはいへ、病疫、瓢箪形、壺、濕潤期、補ふノ讀解

(二) 記事文ノ模範ヲ示スニアリ

實質

(一) アマゾン河ノ流域ニ住メル土人生活ノ状態

(二) こむ液採集ノ方法

(三) こむ液採集ノ時期

(四) こむ液採集ノ困難ヲ知ラシムルニアリ

應用 設問

(一) さはいへトされトノ別ヲ問フ

(二) アマゾン河ノ流域ニ於ケル二三

月ヨリ六七月頃マデノ時候如何

書取

(一) 陰濕の地は瘴氣身をおかして病疫にかかるとの多し

四七、題目 伊藤圭三三三、材料

二時間

介先生の事績を問はれし返事

二時間

立法行政司法詔勅法律命令

(注) 一、人ノ問ニ應ジテ先生ノ傳ヲ以テ文體ニ記述シテ返事スルモノトス

二、修身科ニ於ケル事實ヲ参照セシムベシ

(注)

一、半紙ヲ縦ニシテ半面ニ練習セシメ

後前回ノ分ト共ニ

下清書セシムベシ

二、讀本ノ政治組織ノ課ト連絡シテ授クベシ

三、左ノ文字ノ書き方ヲ示スベシ

司、命、

三四	<p>三七、題目 製鐵王 五時間</p> <p>要項</p> <p>形式 (一) 第一流、技術、蓄財、擴張、孤兒院、よんどころなく、すら、はかばかしくノ讀解</p> <p>實質 (一) 傳記文ノ模範ヲ示スニアリ (二) カーネギーノ苦心 (三) カーネギーノ製鐵業</p>	<p>四八、題目 朋友 一時間</p>	<p>三四、材料 二時間</p>
<p>教具 白色とむ黒色とむ</p> <p>注意 (一) 前課ト連絡シテアマゾン河ノ流域ノ状態ヲ教フベシ</p> <p>(二) こむノ用途ヲ附説スベシ</p> <p>(三) 普通ト通常トノ意義用法ヲ授クベシ</p> <p>(四) 漆ノ採集ト比較セシムベシ</p>			

前回ニ下清書セシ分

(注) 一、前回ノ下清書ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

(注) 一、左ノ律語ノ意義ヲ敷衍シテ朋友ニ交ハルノ必要ト信ヲ守ルベキコトヲ記述セシムルモノトス  
あはれこの世に  
友なくば  
いかでこの身の  
うからまじ  
人と交る  
信の道  
ゆめおろそかに  
思ふなよ  
二、口語體トス

四九、題目 盲啞院へ寄附を申込む

一時間

(注)

應用書取

(三) カーネギーノ慈善  
(四) 成功ハ熱心ト着實トニアルコトヲ知ラシムルニアリ

(二) 年々工場ヲ大キクシ事業ヲ擴張ス

(二) 孤兒院へ多額ノ金ヲ寄附シタ

北米ノ地圖

教具

(二) 一代デ第一流ノ富豪トナツタコトヲ紀文大盡或ハ岩崎彌太郎ト比較セシムベシ

(二) ワガ國ハ製鐵業盛シナラザルコトヲ話スベシ

(二) 弗ニツキテハ委シク知ラシムベシ

(四) 本課ニテ話シ方ヲ練習セシムベシ

(五) 米國中央大學ヲ設立セントノ議アルカーネギーハ二千萬弗ノ寄附ヲ申シ出デシコトヲ附説スベシ

(六) 練習文ハ本文ノ約説文ナルコトヲ教フベシ

三八、題目 造船廠の概況を知らす

らす

四時間

要項

形式 (一) 紹介、構内、運搬、一きは、鍊鐵所、鏈、据、船渠、修繕、塗換ノ讀解

實質

(一) 口語ノ報知文ヲ示スニアリ  
(二) 造船廠ノ工場ノ概況  
(三) 船渠ノ構造ノ大略  
(四) 造船事業ノ如何ナルモノカラ知ラシムルニアリ

應用書取

(一) 重さ十二噸もある鐵の鏈が鍊鐵所に据ゑてある  
(二) 船の修繕や塗換などをするとき

一、盲啞院へ金員又ハ物ノ寄附ヲ申込ムモノトス  
二、ハ文體トス

三五

は船渠に入れる  
教具 横須賀造船廠構内ノ寫真數種 日本地圖

注意

- (一) 本課ニ於テハ思想ノ發展自由自在ニシテシカモ虚飾的文字ノナキコトニ注意シテ授クベシ
- (二) 前課ト連絡シテ機械學研究ノ必要ヲ知ラシムベシ
- (三) 造船廠等ハ容易ニ縦覽スルヲ許サレザルコトヲ告グベシ
- (四) 全國各所ノ造船所ヲ附説スベシ

五〇、題目 カーネギーノ傳 一時間

(注)

- 一、讀本卷八第十八課製鐵王ノ練習文ヲ口語ニ譯セシムベシ
- 二、原文ノ意ヲ失ハザルヨリ注意スベシ

三五、材料 二時間

御祖母様に  
は昨夜御死  
去遊されし  
よし皆々様  
さぞ御愁傷  
の至りござ  
んじ候

五一、題目 大阪圖

書館 一時間

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習セシムベシ
  - 二、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ
- 夜、遊、傷、

三九、題目 福澤諭吉 五時間

要項

形式

- (一) 派遣、抗ス、人心洶々、慕フ、創刊、計音、中詞、哀悼ノ讀解
- (二) モツバラ、アマネク等ノ副詞ノ意義

實質

- (一) 傳記文ノ模範ヲ示スニアリ
- (二) 福澤諭吉ノ修學研究
- (三) 同出仕ト洋行
- (四) 慶應義塾
- (五) 著書ト時事新報創刊
- (五) 功勞ト名譽

應用 設問

- (一) 學校へ行クト學校ニ行クトノ別
- (二) 當時蘭學ノ重ゼラレシ所以ヲ問フ

正誤

- (一) 先生大ニ心ヲ教育ニ盡セシカハ人コレヲ慕ヒタリ
  - (二) カヲ用ヒテ寫セシカハ早ク出來上リタリ
- 左ノ文章中ノ副詞ヲ示セ
- (一) 夙に起き夜に寝ね能く勉強せば賢き人となるべし
  - (二) 普く各所を巡りて具にその實況を觀察せり

三六

教具

日本地圖、東京ノ圖、西洋事情、世界國畫、窮理圖解

注意

- (一) 勤學 研究 公益等ノ諸徳ヲ養フベシ
- (二) 彰義隊ニ付テハ歴史ト連絡シテ當時ノ情況ヲ附説スベシ
- (三) 小幡篤次郎渡邊洪基鎌田榮吉等先生ノ門下生中有名ナル人ヲ附説スベシ
- (四) 新聞雜誌著書ノ文明ニ關係アルコトヲ知ラシムベシ
- (五) 先生ハ當市堂島中學校ノアル所ニテ生レシコトヲ附説スベシ

五二、題目 造幣局の概況を知らす

二時間

(注)

- 一、校外運動ヲ利用シテ造幣局ヲ縦覽セシメ其ノ概況ヲ綴ラシムルモノトス
- 二、泉布觀ノコトモ附記セシムベシ
- 三、口語體トス

三六、材料

二時間

明朝商業の用向にて大阪へ参るべければ何なりとも御用あれば仰せ付けられた候

(注)

- 一、半紙ヲ横ニシテ半面ニ練習シ後前回ノ分ト共ニ下清書セシムベシ
- 二、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ

四〇、題目 軍人への勅諭

十九時間

要項

形式(一) 新字新語ハ多クレバココニ略

三七

ス

- (一) 感謝詞ノ解釋
- (二) 自動詞ト他動詞トノ解釋
- (三) 詔勅ノ讀ミ方ヲ教フルニアリ
- (四) 上世ノ兵制御主旨
- (五) 武家時代ノ兵制
- (六) 現今兵制ノ御趣旨
- (七) 軍人ノ五徳
- (八) 至誠一貫盡忠報國ノ精神ヲ養フニアリ

實質

應用設問

- (一) 御勅諭中ノ固有名詞普通名詞各ニツテ示セ
- (二) 代名詞五ツヲ舉ゲヨ
- (三) 忠臣良將ありて 天皇を輔翼し奉れり
- (四) 義は山嶽よりも重く死は鴻毛よりも輕し
- (五) 本卷第一課ト連絡シテ授クベシ

注意

五三、題目 慶應義塾

二時間

(注)

- 一、讀本卷八第二十課福澤諭吉ノ第三節以下ヲ参照シテ綴ラシムベシ
- 二、文語體トス

三七、材料

二時間

前回ニ下清書セシ分

(注)

- 一、前回ノ下清書ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ

五四、題目 體育會に入會の可否を問ひ合す

二時間

(注)

- 一、目上ノ人が先輩者ニ體育會内部ノ模様入會ノ可否等ヲ問ヒ合スモノトス
- 二、口語體トス

三八、材料

二時間

讀本第二十課軍人への勅諭中朕は汝等軍人の大元帥世界の光華

<b>三九</b>	
<b>練習</b>	<p>(二) 勅諭ハ普通教育ノ目的ニテ記述セラレシモノニアラザレバ形式上ノ教授ハ特ニ深キ注意ヲ要ス</p> <p>(三) 勅諭ハヨク暗誦セシムベシ</p> <p>(四) 歴史修身等ノ教科ト連絡シテ授クベシ特ニ軍人ノ五徳ヲ説明スルニハ歴史上ノ人物ヲトリテ例示スベシ</p> <p>(五) 國民ハ皆兵役ノ義務アルコトヲ憲法ノ正文ニヨリテ授クベシ</p> <p>(六) 練習文ノ入營を祝ふニツイテ祝文ノ形式等ヲ説明スベシ</p>
<b>五五、題目</b> われ等 の望み 二時間	<p>(注)</p> <p>一、兒童各自ノ卒業後如何ニスルカ一生ノ間ニ如何ナルコトヲナサントスルカヲ最モ詳シク記述セシムルモノトス</p> <p>二、口語體トス</p>
<b>三九、材料</b> 二時間	<p>水ハ方圓ノ器ニ從ヒ人ハ善惡ノ友ニヨル</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ縦ニシテ全面ニ練習シ下清書セシムベシ</p>
<b>二六四</b>	<p>こもなりぬべし</p> <p>(注)</p> <p>一、半紙ヲ横ニシテ全面ニ練習セシムベシ</p> <p>二、細字ノ練習ヲ目的トス</p>

<b>四〇</b>	
<b>練習</b>	
<b>五六、題目</b> 卒業式 の答辭 二時間	<p>(注)</p> <p>一、卒業式當日ニ讀ムモノトシテ綴ラシメ式上ニ於ケル祝文答辭等ノ形式ヲ授クルモノトス</p> <p>二、文語體トス</p>
<b>四〇、材料</b> 前回ノ分 二時間	<p>(注)</p> <p>一、前回ト文字ノ位置ヲ同ジクシテ練習シ清書セシムベシ</p> <p>二、左ノ文字ノ書キ方ヲ示スベシ 水、惡、友、</p>
<b>二六五</b>	

# 高等小學校女級國語科綴リ方教授細目

種 目	題 目			
	甲 第一 年	乙 學 年	甲 第三 年	乙 學 年
一	我が通學せる學校のこゝろを知らす(口) 二時間	進級せしこゝろを姉に知らす(口) 返事(口) 一時間	高等女學校に入學せし友におくる(口) 皇后陛下ノ廣島病院に行啓ノ圖ノ説明(文) 一時間	道真公(文) 二時間
二	住吉公園に遊びし記事(口) 二時間	幼ナイ時代へ重ネテ來ナイ(口) 二時間	皇后陛下ノ御文徳(文) 二時間	明治紀念碑(口) 二時間
三	花見に誘ふ(口) 返事(口) 一時間	改良服のこゝろを問ひ合はす(文) 返事(文) 一時間	春ノ野山ノ景色(口) 二時間	入營中の兄におくる(口) 一時間 人を紹介す(口) 一時間
四	女子ノ愛國(口) 二時間	日々ノ務(口) 二時間	博愛(口) 二時間	わが國ノ國體(口) 二時間
五	豌豆(文) 二時間	油菜(文) 二時間	水ノ變化(文) 二時間	住吉公園ニ遊びシ記事(文) 二時間
六	博覽會縱覽にこそよ(口) 一時間 返事(口) 一時間	新茶をおくる(口) 一時間 返事(口) 一時間	淀川(口) 二時間	大阪城の宏壯なるこゝろを知らす(口) 二時間

高等女級國語綴方

(文)ハ文語體 (口)ハ口語體 (口)ハ口語體トス



七	蟻ノ生活ノ模様(口)	二時間	松(口)	二時間	汽車ニツイテノ感シテ記ス(口)	二時間	退の病氣を遠方にある兄弟に知らせ(口)	一時間
八	手傳をたのむ(口)	一時間	母を失ひし人におくる(口)	一時間	上杉鹿山公蠶業を勧められし(口)	一時間	蠶ノ發育ノ模様(口)	二時間
	手傳ひ貰ひし禮狀(口)	一時間	返事(口)	一時間	蠶卵紙を注文す(口)	一時間		
九	女子ノ仕事(文)	二時間	二宮尊徳先生ノ苦學(文)	二時間	仁徳天皇(文)	二時間	蚜蟲の驅除法を問ふ(口)	一時間
					新聞紙(口)	一時間		
一〇	貯金ノ必要(口)	二時間	節儉(口)	二時間	石炭の由來を問はれしに答ふ(口)	二時間	畑ノ作物(文)	二時間
二	物の直段を問ひ合す(口)	一時間	忘れものを問ひ合す(口)	一時間	電燈加入を申込む(口)	一時間	新版書籍豫約を申込む(口)	一時間
	返事(口)	一時間	返事(口)	一時間	電話加入を申込む(口)	一時間		
二二	花ト蝶(文)	二時間	四天王寺(文)	二時間	平壤包圍攻撃(書名)を借る(口)	一時間	鐵ノ功用(口)	一時間
					返事(口)	一時間		
二三	第五回内國勸業博覽會(口)	二時間	返事(口)	一時間	南海鐵道(文)	二時間	書畫展覽會雜覽にさそふ(口)	一時間
							返事(口)	一時間
一四	暑中友につかはす(口)	一時間	金鷄勳章(口)	二時間	乳母の世話をしたのむ(口)	一時間	郵便ト電信(文)	二時間
	返事(口)	一時間			返事(口)	一時間		

一五	住吉公園ニ遊ビシ記事(口)	二時間	注文せし品を催促す(口)	一時間	鷹山公ヨク父ニ事ヘラレシコト(文)	一時間	死亡通知ノ廣告(口)	一時間
			轉宅を知らす(口)	一時間	儉約(文)	一時間	會葬謝禮廣告(文)	一時間
一六	中江藤樹先生夫人ノ行ヒ(文)	二時間	加茂眞淵先生ノ妻(文)	二時間	染物を注文す(口)	一時間	春日局アル女房ヲ戒メラレシ言葉(口)	二時間
					返事(口)	一時間		
一七	言葉ヲ慎ムベシ(口)	二時間	誠ハ人ノ道(口)	二時間	運動ノ必要(口)	二時間	誠ハ徳ノ本(口)	二時間
一八	下女の世話をたのむ(口)	二時間	下女を世話す(口)	二時間	汽船の發着期日を問ひ合す(口)	二時間	火災保險會社のこゝを問ひ合す(口)	二時間
					返事	一時間		
一九	我が家(口)	二時間	夏季休業中ノ樂(口)	二時間	水道ノ功用(口)	二時間	今後ノ女子(口)	二時間
二〇	女子ノ勇氣(文)	二時間	愛讀セル書物(文)	二時間	植物園の概況を知らす(口)	二時間	旅行して後友人につかはす(口)	二時間
二二	傳染病流行地にある友におくる返事(口)	一時間	書物を借る(口)	一時間	二百十日(文)	二時間	象(文)	二時間
二三	學校ノ附近(口)	二時間	女ノ心得置クベキ業(口)	二時間	貯蓄(口)	一時間	在宅の時間を問ひ合す(口)	一時間
					不在中に尋れくれし友におくる返事(口)	一時間		

三三	舊師におくる(口)	二時間	かりものを返す(口)	一時間	日本武尊(文)	二時間	アガ國人ノ武勇(文)	二時間
二四	近江入景の寫眞をかる(口) 返事(口)	一時間 一時間	醫師の來診を乞ふ(口) 家鶏(文)	一時間 一時間	入院中の友におくる(口) 返事(口)	一時間 一時間	久しく遇はぬ友におくる(口)	二時間
二五	きのこ(文)	二時間	友人の病氣を見舞ふ(口)	一時間	僧契沖(文)	二時間	慈善(口)	一時間
二六	編物を教へくれる師を求む(口)	二時間	菊(口)	二時間	器具ノ整理(口)	二時間	運動ノ利益(口)	二時間
二七	税所敦子刀自ノ勤勉(文)	二時間	佛事に招く(口)	一時間	友の危篤を某家に知らす(口) 久しぶりに舊友に遇ひて後おく る(口)	一時間 一時間	新聞社に正誤又は取消を申込む 新聞紙の切めきをおくる(口)	一時間 一時間
二八	祭禮に招く(口) 返事(口)	一時間 一時間	洗濯ノ糊付(文)	二時間	瀬戸内海航行ノ案内(文)	二時間		
二九	税所敦子刀自節儉ヲ守ラシメ ト(口)	二時間	秋ノ野山ノ景色(口)	二時間	鹽ト砂糖(口)	二時間	孟母(口)	二時間
三〇	言語ト動作(文)	二時間	案式部ノ幼時(文)	二時間	乳母を世話す(口)	一時間	愛國婦人會に入るを勧む(口)	二時間

三一	新年を賀す(口) 返事(口)	一時間 一時間	寒中友につかはす(口)	一時間	女子ノ仕事(文)	二時間	岩女ノ身ノ装ヒ(文)	一時間
三二	冬季休業中ノ樂(口)	二時間	一月一日(口)	二時間	わが母(口)	二時間	大阪市の景況を知らす(口)	二時間
三三	品物の直段を問ひ合す(口) 返事(口)	一時間 一時間	久しく缺席せる友におくる(口)	一時間 一時間	七福神の由来を問はれしに答ふ マッチ(口)	一時間 一時間	衣服ノ保存(文)	二時間
三四	注物品を催促す(口) 注物品を送り届く(口)	一時間 一時間	井上でん女(文)	二時間	朋友(文)	二時間	孤兒(文)	二時間
三五	我等ノ心得(文)	二時間	某高等女學校の模様を問ひ合す(口)	二時間	子女の教育(口)	二時間	氏ヨリ育チ(口)	二時間
三六	買物をたのむ(口) 返事(口)	一時間 二時間	よく働きよく遊べ(口)	二時間	友の不幸を知らす(口)	一時間	孤兒院へ寄附を申込む(口)	一時間
三七	油斷大敵(口)	二時間	買物を送り届く(口)	一時間	公共ニ對スル徳義(文)	二時間	室内ノ衛生(文)	二時間
三八	掃除(口)	二時間	裁縫ト編物(口)	二時間	旅行の樂しみ(口)	二時間	家庭ノ親シミ(口)	二時間

三九	仕立物をたのむ(口) 返事(口)	一時間 返事(口)	一時間 梅の花見にさそふ(口)	一時間 新聞社に廣告を依頼す(口)	一時間 來談を乞ふ(口)	家計簿記について問ひ合す(口)
四〇	大阪市ノ古ト今(文)	二時間 春ノ野(文)	二時間 我等ノ望ミ(文)	二時間 我等ノ前途(文)		二時間

明治三十五年八月八日印刷  
 明治三十五年八月二十三日發行

教授細目奥

編纂者 大阪府師範學校附屬小學校  
 右代表者 稻森増次郎

發行者 吉岡平助

大阪市東區備後町四丁目七十八番邸

印刷者 金子久太郎

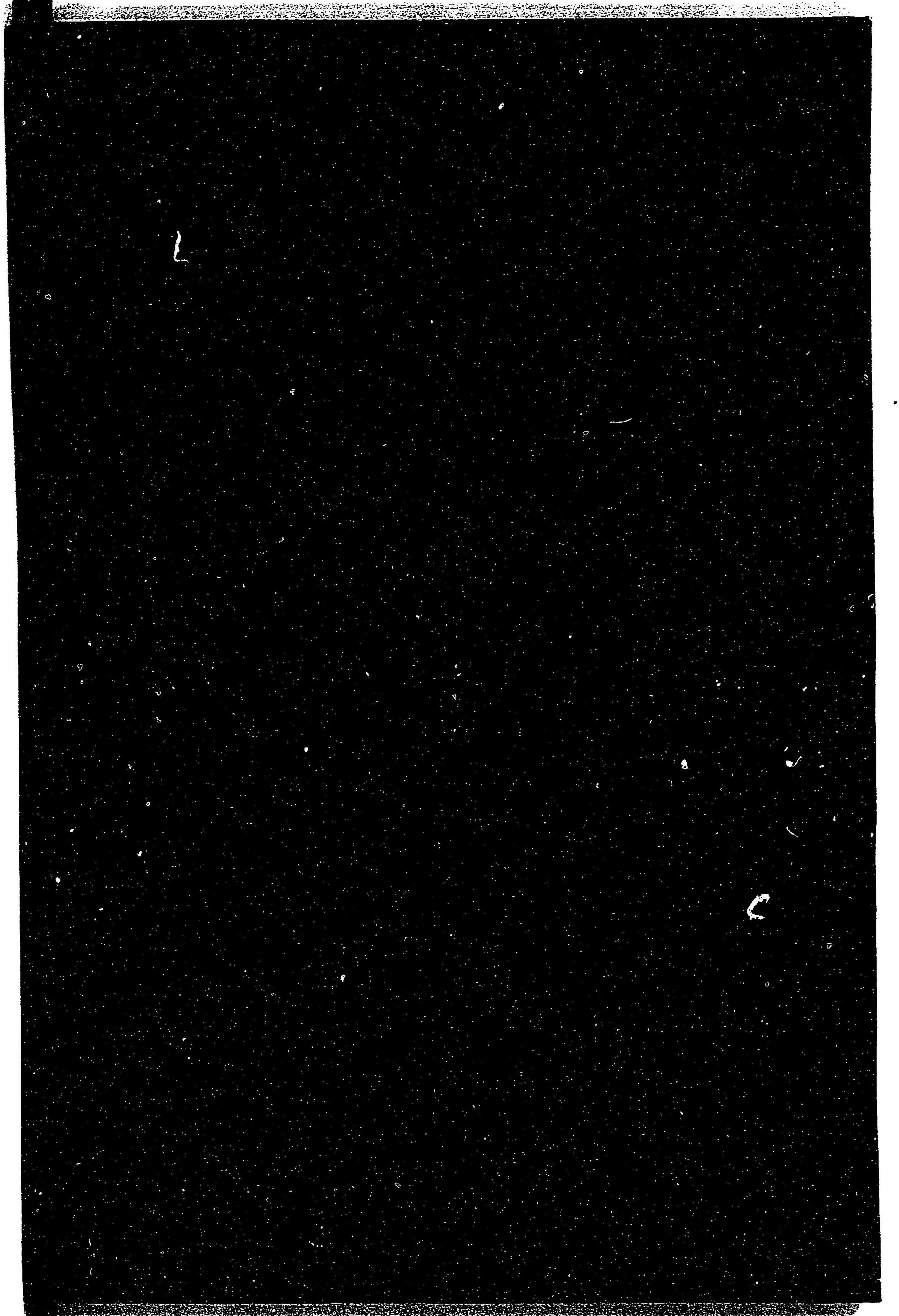
神戸市榮町六丁目三拾三番地

發兌元

大阪市東區備後町四丁目  
 特電話東四百貳拾九番  
 電話東四拾參番

寶文館

4277



特26  
7

048190-000-9

特26-7

国語科教授細目

大阪府師範学校附属小学校／編

M35

BEF-2160

